



航空貨物ラベル作成ソフト V3

ラベル発行 V3 ユーザーズガイド

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

4Y1-8661-010

© CANON FINETECH NISCA INC. 2025

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。必要に応じてご利用ください。

- ・ **インストールガイド**

ソフトウェアのインストール方法についての説明が記載されています。

- ・ **ラベル発行 V3 ユーザーズガイド（本書）**

「ラベル発行 V3」についての説明が記載されています。
ラベルの印刷のしかたについて知りたいときにお読みください。

- ・ **フォーム設計 V3 ユーザーズガイド**

「フォーム設計 V3」についての説明が記載されています。
オリジナルデザインのラベル（フォーム）の作成のしかたについて知りたいときにお読みください。

記載について

- ・ 本書では、Windows 11 をご使用の場合に表示される画面で説明しています。
- ・ 本書で使われている画面は実際と異なる場合があります。
- ・ 本書では、次のようなマークを使用しています。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

商標について

- ・ Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- ・ Microsoft および Windows は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名、商品名および名称（サービス名称、ブランド名称などすべて含む）は各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

- ・ 本書の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ・ 本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

はじめに.....	5
動作環境について	5
お使いになる前に.....	6
起動と終了.....	8
起動する.....	8
終了する.....	9
メイン画面の構成について.....	10
本ソフトウェアの使いかた.....	11
ラベルの作成と印刷.....	11
ラベルの入力項目.....	14
コンビラベル（色 2 ヶ所 / 色 1 ヶ所）.....	14
コンビラベル 2.....	16
コンビラベル 3.....	18
コンビラベル 4.....	20
マスターラベル.....	22
ハウ斯拉ベル 1.....	23
ハウ斯拉ベル 2.....	25
ハウ斯拉ベル 3.....	27
ハウ斯拉ベル 4.....	29
ケースマークラベル (5 行).....	31
ケースマークラベル (10 行).....	33
ケースマークラベル (15 行).....	35
バーコードラベル.....	37
印刷履歴編集.....	39
メンテナンスメニュー.....	41
フォワーダー登録.....	42
フォワーダー設定.....	43

パラメーター設定.....	63
プリンター設定.....	64
連携印刷ログ表示.....	65
ユーザズガイドを読む.....	67
オンライン上に公開されているユーザズガイドを読む.....	67
コンピューターに登録したユーザズガイドを読む.....	67
システム連携モジュール V3 からの印刷.....	68
管理画面を表示する.....	69
システム連携モジュール V3 をサービスとして起動する.....	71
監視情報を設定する.....	72
監視フォルダーの監視を開始する.....	76
メッセージ一覧.....	78
付録.....	79
入力内容と最大入力可能桁数一覧.....	79
CSV 形式ファイルの仕様.....	80
記述ルール.....	83
ラベル ID 一覧.....	83
拡張機能の指定.....	83
補足事項.....	84
キャリア/フォワーダーの登録.....	85
キャリアの情報を登録する.....	85
フォワーダーの情報を登録する.....	85

はじめに

このたびは、「航空貨物ラベル作成ソフト V3」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境について

本ソフトウェアは、次の環境でご利用になれます。

OS ^{*1}	Microsoft Windows 11 日本語版
メモリー	上記 OS が動作するために必要なメモリー
ディスプレイ	解像度 1024 × 768ドット以上、16 ビットカラー以上表示可能なカラーディスプレイ
インストール時のハードディスク 空き容量 ^{*2}	100 MB 以上
対応プリンター	キヤノン カラーラベルプリンター LX-D400 キヤノン カラーラベルプリンター LX-D5500

^{*1} 「フォーム設計 V3」、「ラベル発行 V3」
Windows 64 ビット環境では、32 ビット互換モードで動作します。

^{*2} 航空貨物ラベル作成ソフト V3(フォーム設計 V3、ラベル発行 V3、イメージデータなど一式)およびプリンター
ドライバーのインストールに必要な容量です。.NET Framework4.8 をインストールして使用される場合の容
量は含まれていません。

お使いになる前に

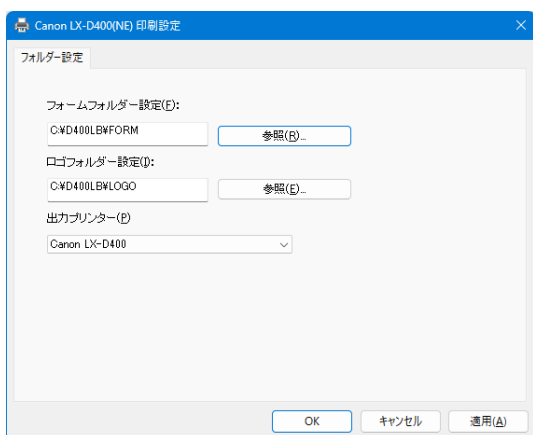
本ソフトウェアをお使いになる前に、次のことを確認してください。

1. 以下の2種類のプリンタードライバーがインストールされていること

- LX-D400 または LX-D5500 プリンタードライバー
- LX-D400(NE) ドライバー

2. LX-D400(NE) ドライバーの「印刷設定」が正しく設定されていること

LX-D400 または LX-D5500 のプリンタードライバーをインストールしたあと、LX-D400(NE) ドライバーの「印刷設定」をご使用の環境に合わせて設定してください。設定方法については、「インストールガイド」の「ラベル発行 V3 をインストールする」を参照してください。



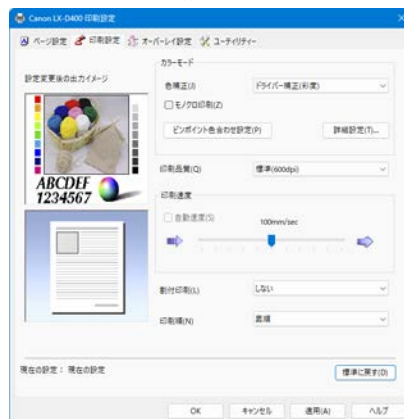
3. プリンタードライバーの「色設定」が正しく設定されていること

LX-D400 または LX-D5500 のプリンタードライバーをインストールしたあと、「色設定」を設定してください。設定方法については、「インストールガイド」の「ラベル発行 V3 をインストールする」を参照してください。

・ LX-D400 の場合



・ LX-D5500 の場合



4. ラベル発行に必要なフォームデータおよびロゴデータがインストールされていること

フォームデータ、ロゴデータ、設定ファイルがそれぞれ下記のフォルダー内にあることを確認してください。

フォームデータ：C:¥D400LB¥FORM

ロゴデータ：C:¥D400LB¥LOGO

設定ファイル：C:¥Windows¥D400DRV.ini

* “C:”の部分は「ラベル発行V3」をインストールしたドライブ名



メモ

- 「ラベル発行V3」のインストール先を変更した場合、フォームデータとロゴデータは自動で移動されません。新しいインストール先に手動で移動してください。

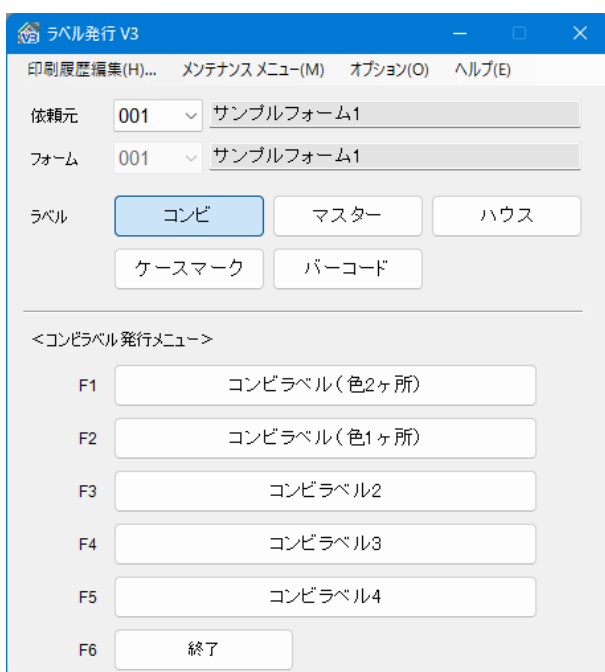
起動と終了

本ソフトウェアの起動と終了、およびメイン画面の構成について説明します。

起動する

- 1 [スタート] → [すべてのアプリ] → [航空貨物ラベル作成 V3] → [ラベル発行 V3] を選びます。

本ソフトウェアが起動します。

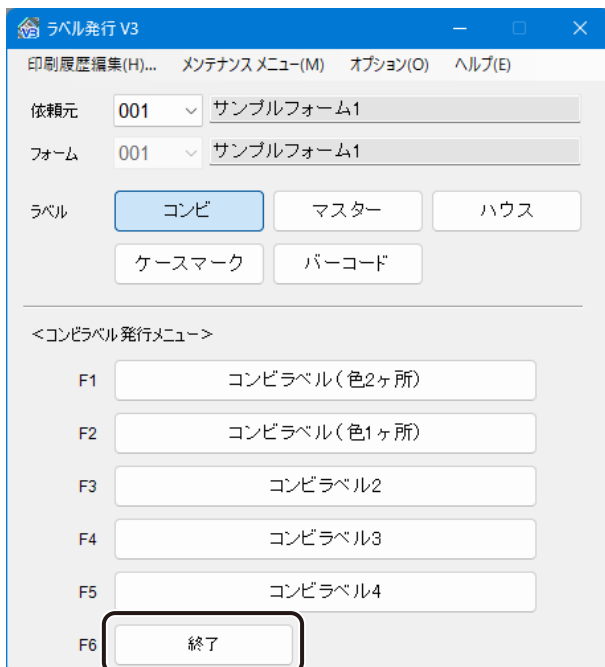


メモ

- 本ソフトウェアの起動後に、プリンターの電源を ON/OFF した場合は本ソフトウェアを再起動してください。
- 本ソフトウェアのバージョン情報は、[ヘルプ] メニューの [バージョン情報] で確認できます。

1 [終了] をクリックします。

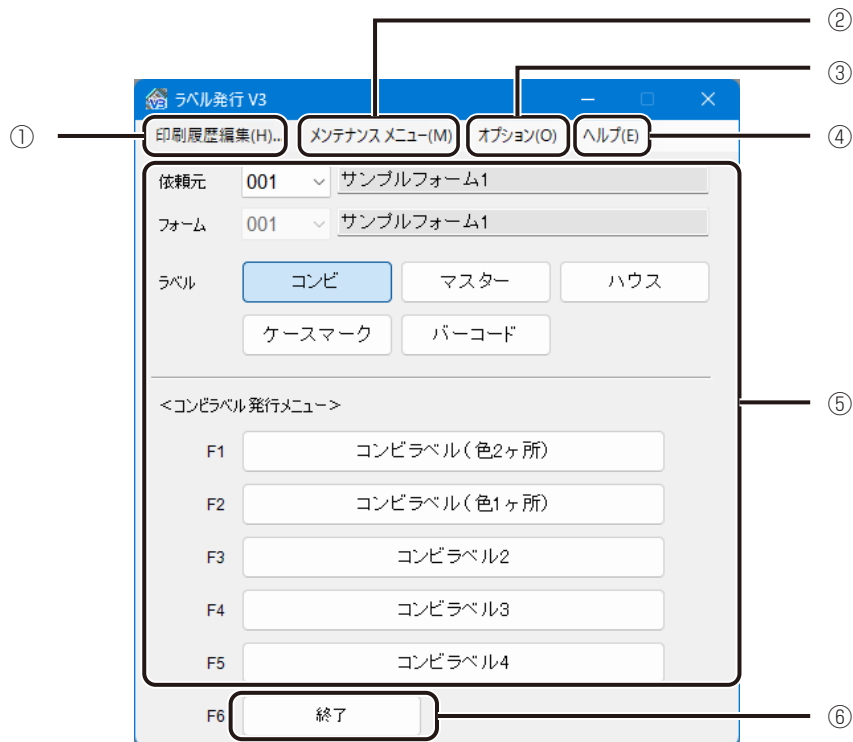
または、Windows タイトルバーにある  (終了ボタン) をクリックします。



本ソフトウェアが終了します。

メイン画面の構成について

メイン画面は次のように構成されています。



① 印刷履歴編集

印刷履歴画面を開き、印刷履歴についての編集を行います。

⇒ 「印刷履歴編集 (P.39)」

② メンテナンスメニュー

本ソフトウェアのメンテナンスに関する項目が表示されます。

⇒ 「メンテナンスメニュー (P.41)」

③ オプション

オフライン環境のコンピューターをお使いの場合など、インターネットを利用できない状況でもユーザーズガイドを閲覧するために、ここからユーザーズガイドを登録します。

④ ヘルプ

本ソフトウェアのマニュアルとバージョン情報が表示されます。

⑤ ラベル作成

ラベルの作成を行います。

⇒ 「ラベルの作成と印刷 (P.11)」

⑥ 終了

本ソフトウェアを終了します。

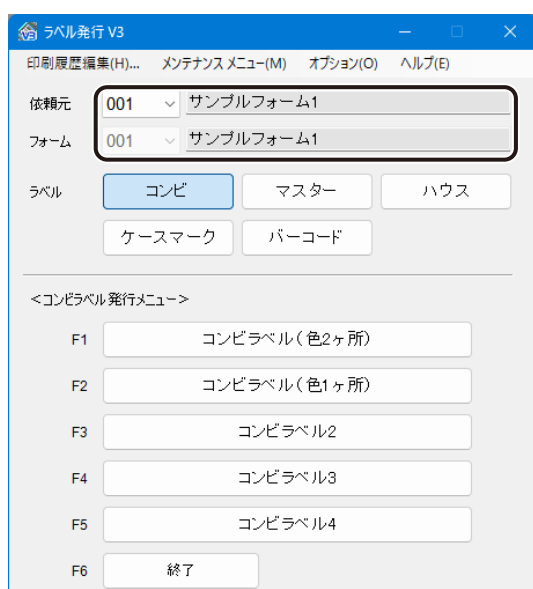
本ソフトウェアの使いかた

本ソフトウェアの使いかたを説明します。

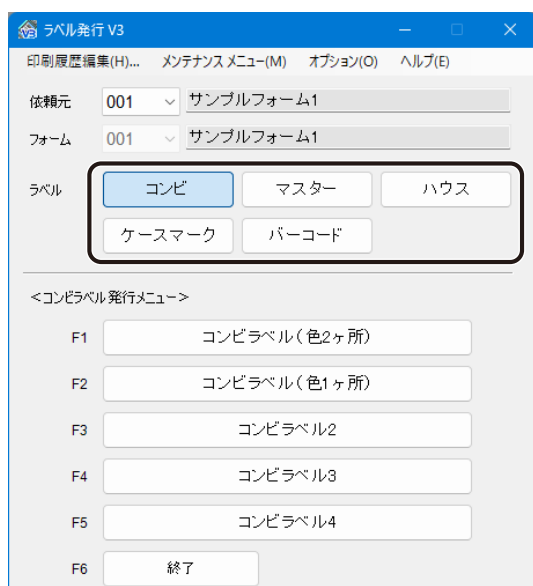
ラベルの作成と印刷

ラベル作成と印刷の手順について説明します。

- 1 ラベル作成の依頼元（依頼元）および印刷するラベルのフォーマット（フォーム）を選択します。



- 2 ラベルの種類を選択します。



3 ラベル発行メニューの一覧から、印刷するラベルを選びます。

[依頼元] [フォーム] [ラベル] で選択されたラベル作成画面が表示されます。

4 ラベルに印刷する情報を入力します。

各ラベルの入力項目については、以下を参照してください。

コンビラベル	コンビラベル (色 2 ヶ所 / 色 1 ヶ所)	⇒ 「コンビラベル (色 2 ヶ所 / 色 1 ヶ所) (P.14)」
	コンビラベル 2	⇒ 「コンビラベル 2 (P.16)」
	コンビラベル 3	⇒ 「コンビラベル 3 (P.18)」
	コンビラベル 4	⇒ 「コンビラベル 4 (P.20)」
マスターラベル	マスターラベル (個数あり / 個数なし)	⇒ 「マスターラベル (P.22)」
ハウ斯拉ベル	ハウ斯拉ベル 1	⇒ 「ハウ斯拉ベル 1 (P.23)」
	ハウ斯拉ベル 2	⇒ 「ハウ斯拉ベル 2 (P.25)」
	ハウ斯拉ベル 3	⇒ 「ハウ斯拉ベル 3 (P.27)」
	ハウ斯拉ベル 4	⇒ 「ハウ斯拉ベル 4 (P.29)」
ケースマークラベル	ケースマークラベル (5 行)	⇒ 「ケースマークラベル (5 行) (P.31)」
	ケースマークラベル (10 行)	⇒ 「ケースマークラベル (10 行) (P.33)」
	ケースマークラベル (15 行)	⇒ 「ケースマークラベル (15 行) (P.35)」
バーコードラベル	バーコードラベル	⇒ 「バーコードラベル (P.37)」

メモ

- 入力形式で、コンビラベル、ハウ斯拉ベル、それぞれの入力の違いについては、巻末付録の「入力内容と最大入力可能桁数一覧」を参照してください。
- コンビラベル / マスターラベル / ハウ斯拉ベルの場合：
[入力データ保存] をクリックすると、情報が「yyyyMMddHHmmss_依頼元_ラベル ID」の形式で保存されます。保存したファイル (*.lud) は、[入力データ読込] で開くことができます。

5 [プレビュー] をクリックして、印刷イメージを確認します。

メモ

- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。
- [プレビュー] をクリックすると、「プレビュー待機中」のメッセージが一旦表示され、プレビュー画面が表示されると自動的に閉じられます。
- コンビラベル、マスターラベルのとき、Airline (2桁) (または Airline code (3桁)) が入力されていない状態で [プレビュー] または [印刷] をクリックすると、ロゴなしで印刷してもよいかを確認する画面が表示されます。ロゴなしの状態でのプレビュー画面の表示、または印刷するときは、[はい] をクリックしてください。
- 出力プリンターが設定されていない状態で [プレビュー] または [印刷] をクリックすると、出力プリンターの設定を促すメッセージが表示されます。[OK] をクリックし、LX-D400(NE) ドライバーの「印刷設定」画面で出力プリンターを設定してください。
出力プリンターの設定については、「インストールガイド」の「ラベル発行 V3 をインストールする」を参照してください。
- [プレビュー] が無効のときは、「プリンター設定」で LX-D400(NE) ドライバーが選択されていません。プリンター設定については、「[プリンター設定 \(P.64\)](#)」を参照してください。

6 [印刷] をクリックします。

印刷が実行されます。

メモ

- 以下のような状況で印刷が中止された場合でも、印刷履歴には記録されます。
 - [印刷] をクリックしたあとに、「ロゴなしの状態でも印刷しますか？」のメッセージ画面で「いいえ」をクリックして印刷を中止したとき
 - LX-D400(NE) ドライバーの印刷設定で出力プリンターが設定されていなかったとき
 - LX-D400 または LX-D5500 プリンターのステータスマニターや印刷キューウィンドウから印刷を中止したとき

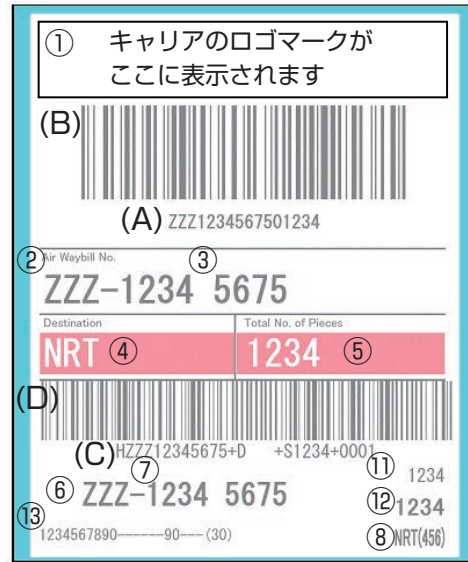
ラベルの入力項目

各ラベルの入力項目について説明します。

■ コンビラベル (色 2ヶ所 / 色 1ヶ所)

(画面例)

(出力例)



- | | | |
|-----------------------------|--|-------------------|
| ① Airline : | 2桁の2レター (英数字) を入力します。*1 | (例) JL |
| ② Airline Code : | 3桁の英数字を入力します。*1 | (例) 131 |
| ③ Air Waybill No. : | 8桁の数字を入力します。*2 | (例) 12345675 |
| ④ Destination : | 3桁の英数字を入力します。 | (例) NRT |
| ⑤ 個数 : | 4桁以内の個数を入力します。*3*4 | (例) 1234 |
| ⑥ House Name : | [詳細設定] により設定します。(入力する必要はありません) | |
| ⑦ House Waybill No. : | 8桁の数字を入力します。*2 | (例) 98765435 |
| ⑧ Destination : | 3桁/8桁 (8桁チェック時) の英数字を入力します。 | (例) NRT または KIMPO |
| ⑨ 色分け : | 3桁の英数字を入力します。(RED, YEL, PUR, GRE, BLU, BRO) *3*4 | (例) RED |
| ⑩ バーコード用 : | 8桁チェック時にバーコード用の仕向地 3桁の英数字を入力します。 | (例) NRT |
| ⑪ 分割搬入個数 : | 4桁以内の個数を入力します。*4 | (例) 1234 |
| ⑫ Total No. of HWB Pieces : | 4桁以内の個数を入力します。 | (例) 1234 |
| ⑬ 付加情報 : | 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*4 | (例) コンビラベル 1 |
| ⑭ 発行枚数 : | 4桁以内の発行枚数を入力します。*6 | (例) 1234 |

⑮ HWB Piece No. 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。 (例) 1, 3-4
バーコード拡張: [任意のラベルのみ発行する] を選択した場合、" ," と " - " で印刷範囲を指定します。*5

- (A): ②・③・⑤のデータから自動的に出力されます。
- (B): (A) のデータにより自動的に出力されます。
- (C): [コンビラベル 1 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。
- (D): (C) のデータにより自動的に出力されます。

*1 [コンビラベル 1 詳細定義]により、Airline(2桁)または Airline code(3桁)からの入力を選択できます。入力内容に従い、Airline または Airline code が自動的に入力されます。
*2 [コンビラベル 1 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する / しないの選択ができます。
*3 ラベル上では [Total No. of Pieces] と表示されます。[コンビラベル 1 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
*4 [コンビラベル 1 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
*5 [コンビラベル 1 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
*6 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。

 メモ

- [クリア] をクリックすると、ハウスネーム以外の入力データを消去します。
- [コンビラベル (色 1ヶ所)] も入力する内容は同じですが、出力物に対する色分けが、Destination (出力例 ⑧) の背景色となります。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ コンビラベル 2

(画面例)

(出力例)

- ① Airline : 2桁の2レター（英数字）を入力します。*1 (例) JL
- ② Airline Code : 3桁の英数字を入力します。*1 (例) 131
- ③ Air Waybill No. : 8桁の数字を入力します。*2 (例) 12345675
- ④ Destination : 3桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑤ 個数 : 4桁以内の個数を入力します。*3 (例) 1234
- ⑥ House Waybill No. : 12桁以内の数字を入力します。
入力されたスペースは、バーコードに反映されません。 (例) 123 456 7890
- ⑦ Destination : 6桁以内の英数字を入力します。 (例) NARITA
- ⑧ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *4 (例) RED
- ⑨ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。 (例) 1234
- ⑩ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*4 (例) コンビラベル 2
- ⑪ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*6 (例) 1234
- ⑫ HWB Piece No.
バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。
[任意のラベルのみ発行する] を選択した場合、"、" と "-" で印刷範囲を指定します。*5 (例) 1, 3-4

(A) : ②・③・⑤のデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [コンビラベル 2 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

- *1 [コンビラベル2 詳細定義]により、Airline(2桁)または Airline code(3桁)からの入力を選択できます。入力内容に従い、Airline または Airline code が自動的に入力されます。
- *2 [コンビラベル2 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する / しないの選択ができます。
- *3 ラベル上では [Total No. of Pieces] と表示されます。[コンビラベル2 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *4 [コンビラベル2 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *5 [コンビラベル2 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
- *6 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ コンビラベル 3

(画面例)

(出力例)

- ① Airline : 2桁の2レター（英数字）を入力します。*1 (例) JL
- ② Airline Code : 3桁の英数字を入力します。*1 (例) 131
- ③ Air Waybill No. : 8桁の数字を入力します。*2 (例) 12345675
- ④ Destination : 3桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑤ 個数 : 4桁以内の個数を入力します。*3 (例) 1234
- ⑥ House Waybill No. : 16桁以内の数字を入力します。
入力されたスペースは、バーコードに反映されません。 (例) 1 2 3 4 56 78 90
- ⑦ Destination : 6桁以内の英数字を入力します。 (例) NARITA
- ⑧ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *4 (例) RED
- ⑨ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。 (例) 1234
- ⑩ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*4 (例) コンビラベル 3
- ⑪ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*6 (例) 1234
- ⑫ HWB Piece No.
バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。
[任意のラベルのみ発行する] を選択した場合, " , " と " - " で印刷範囲を指定します。*5 (例) 1, 3-4

(A) : ②・③・⑤のデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [コンビラベル 3 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

- *1 [コンビラベル3 詳細定義]により、Airline(2桁)または Airline code(3桁)からの入力を選択できます。入力内容に従い、Airline または Airline code が自動的に入力されます。
- *2 [コンビラベル3 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する / しないの選択ができます。
- *3 ラベル上では [Total No. of Pieces] と表示されます。[コンビラベル3 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *4 [コンビラベル3 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *5 [コンビラベル3 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
- *6 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ コンビラベル 4

(画面例)

(出力例)

- ① Airline : 2桁の2レター(英数字)を入力します。*1 (例) JL
- ② Airline Code : 3桁の英数字を入力します。*1 (例) 131
- ③ Air Waybill No. : 8桁の数字を入力します。*2 (例) 12345675
- ④ Destination : 3桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑤ 個数 : 4桁以内の個数を入力します。*3 (例) 1234
- ⑥ House Name : 詳細設定により設定します。(入力する必要はありません)
- ⑦ House Waybill No. : House Name が数字の場合は8桁の数字、House Name が英数字の場合は7桁の数字を入力します。*2 (例) 1234564
- ⑧ Destination : 3桁/8桁(8桁チェック時)の英数字を入力します。 (例) NRTまたはKIMPO
- ⑨ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED, YEL, PUR, GRE, BLU, BRO) *4 (例) RED
- ⑩ バーコード用 : 8桁チェック時にバーコード用の仕向地3桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑪ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。 (例) 1234
- ⑫ 分割搬入個数 : 4桁以内の個数を入力します。*4 (例) 1234
- ⑬ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*4 (例) 1,3-4
- ⑭ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*6 (例) 1234
- ⑮ HWB Piece No. バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。 (例) 1,3-4
[任意のラベルのみ発行する]を選択した場合、","と"-"で印刷範囲を指定します。*5

(A) : ②・③・⑤のデータから自動的に出力されます。

(B): (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C): [コンビラベル 4 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D): (C) のデータにより自動的に出力されます。

- *1 [コンビラベル 4 詳細定義]により、Airline(2桁)または Airline code(3桁)からの入力を選択できます。入力内容に従い、Airline または Airline code が自動的に入力されます。
- *2 [コンビラベル 4 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する / しないの選択ができます。
- *3 ラベル上では [Total No. of Pieces] と表示されます。[コンビラベル 4 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *4 [コンビラベル 4 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定および入力チェック実行する / しないの選択が可能です。
- *5 [コンビラベル 4 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。
- *6 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



メモ

- [クリア] をクリックすると、ハウスネーム以外の入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ マスターラベル

(画面例)

(出力例)

- | | | |
|-------------------------|---------------------------|--------------|
| ① Airline : | 2桁の2レター(英数字)を入力します。*1 | (例) JL |
| ② Airline Code : | 3桁の英数字を入力します。*1 | (例) 131 |
| ③ Air Waybill No. : | 8桁の数字を入力します。*2 | (例) 12345675 |
| ④ Destination : | 3桁の英数字を入力します。 | (例) NRT |
| ⑤ Total No. of pieces : | 4桁以内の個数を入力します。*3 | (例) 1234 |
| ⑥ 付加情報 : | 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*3 | (例) マスターラベル |
| ⑦ 発行枚数 : | 4桁以内の発行枚数を入力します。 | (例) 1234 |

(A): ②・③・⑤のデータから自動的に出力されます。

(B): (A)のデータにより自動的に出力されます。

*1 [マスターラベル1 詳細定義]により、Airline (2桁) または Airline code (3桁) からの入力を選択できます。入力内容に従い、Airline または Airline code が自動的に入力されます。

*2 [マスターラベル1 詳細定義]により、モジユラスチェックを実行する/しないの選択ができます。

*3 [マスターラベル1 詳細定義]により、使用/未使用項目の設定および入力チェック実行する/しないの選択が可能です。

メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ ハウスラベル1

(画面例)

(出力例)

- ① House Name : [詳細設定] により設定します。(入力する必要はありません)
- ② House Waybill No. : 8桁の数字を入力します。*1 (例) 12345675
- ③ Destination : 3桁/8桁(8桁チェック時)の英数字を入力します。 (例) NRTまたはKIMPO
- ④ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *2 (例) RED
- ⑤ バーコード用 : 8桁チェック時にバーコード用の仕向地3桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑥ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。*2 (例) 1234
- ⑦ 分割搬入個数 : 4桁以内の個数を入力します。*2 (例) 1234
- ⑧ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*2 (例) ハウスラベル1
- ⑨ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*4 (例) 1234
- ⑩ HWB Piece No.
バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。 (例) 1,3-4
[任意のラベルのみ発行する]を選択した場合、"."と"-"で印刷範囲を指定します。*3

(A) : [ハウスラベル1 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [ハウスラベル1 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

*1 [ハウスラベル1 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する/しないの選択ができます。

*2 [ハウスラベル1 詳細定義] により、使用/未使用項目の設定が可能です。

*3 [ハウスラベル1 ハウスバーコード指定] により、使用/未使用項目の設定が可能です。

*4 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



- [クリア] をクリックすると、ハウスネーム以外の入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ ハウスラベル2

(画面例)

(出力例)

- ① House Waybill No. : 12桁以内の数字を入力します。入力されたスペースはバーコードには反映されません。(例) 123456789012
- ② Destination : 6桁以内の英数字を入力します。(例) NARITA
- ③ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *1 (例) RED
- ④ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。*1 (例) 1234
- ⑤ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*1 (例) ハウスラベル2
- ⑥ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*3 (例) 1234
- ⑦ HWB Piece No.
バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。(例) 1, 3-4
[任意のラベルのみ発行する] を選択した場合, " , " と " - " で印刷範囲を指定します。*2

(A) : [ハウスラベル2 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [ハウスラベル2 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

*1 [ハウスラベル2 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*2 [ハウスラベル2 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*3 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ ハウスラベル3

(画面例)

(出力例)

- ① House Waybill No. : 16桁以内の数字を入力します。入力されたスペースはバーコードには反映されません。 (例) 123 456 7890
123
- ② Destination : 6桁以内の英数字を入力します。 (例) NARITA
- ③ 色分け : 3桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *1 (例) RED
- ④ Total No. of HWB Pieces : 4桁以内の個数を入力します。*1 (例) 1234
- ⑤ 付加情報 : 30文字以内の英数字および日本語で入力します。*1 (例) ハウスラベル3
- ⑥ 発行枚数 : 4桁以内の発行枚数を入力します。*3 (例) 1234
- ⑦ HWB Piece No.
バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。 (例) 1,3-4
[任意のラベルのみ発行する] を選択した場合,"," と "-" で印刷範囲を指定します。*2

(A) : [ハウスラベル3 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [ハウスラベル3 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

*1 [ハウスラベル3 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*2 [ハウスラベル3 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*3 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ ハウスラベル 4

(画面例)

(出力例)

- ① House Name : [詳細設定] により設定します。(入力する必要はありません)
- ② House Waybill No. : House Name が数字のときは 8 桁の数字、House Name が英数字のときは 7 桁の数字を入力します。*1 (例) 1234564
- ③ Destination : 3 桁 / 8 桁 (8 桁チェック時) の英数字を入力します。 (例) NRT または KIMPO
- ④ 色分け : 3 桁の英数字を入力します。(RED,YEL,PUR,GRE,BLU,BRO) *2 (例) RED
- ⑤ バーコード用 : 8 桁チェック時にバーコード用の仕向地 3 桁の英数字を入力します。 (例) NRT
- ⑥ Total No. of HWB Pieces : 4 桁以内の個数を入力します。*2 (例) 1234
- ⑦ 分割搬入個数 : 4 桁以内の個数を入力します。*2 (例) 1234
- ⑧ 付加情報 : 30 文字以内の英数字および日本語で入力します。*2 (例) ハウスラベル 4
- ⑨ 発行枚数 : 4 桁以内の発行枚数を入力します。*4 (例) 1234
- ⑩ HWB Piece No. バーコード拡張 : 全ラベルを発行するか、一部のラベルを発行するかを選択します。 (例) 1,3-4
[任意のラベルのみ発行する] を選択した場合、"、" と "-" で印刷範囲を指定します。*3

(A) : [ハウスラベル 4 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(B) : (A) のデータにより自動的に出力されます。

(C) : [ハウスラベル 4 詳細定義] の [ハウスバーコード指定] で設定したデータから自動的に出力されます。

(D) : (C) のデータにより自動的に出力されます。

*1 [ハウスラベル 4 詳細定義] により、モジュラスチェックを実行する / しないの選択ができます。

*2 [ハウスラベル 4 詳細定義] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*3 [ハウスラベル 4 ハウスバーコード指定] により、使用 / 未使用項目の設定が可能です。

*4 [Total No. of HWB Pieces] と連動した数値が反映されます。ただし、[発行枚数] に入力された数値は、[Total No. of HWB Pieces] に反映されません。また、バーコード拡張を使用する設定の場合は数値を入力することができません。



メモ

- [クリア] をクリックすると、ハウスネーム以外の入力データを消去します。
- 付加情報の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。

■ ケースマークラベル (5 行)

(画面例)

ケースマークラベル 5行印刷 (AAA05)

依頼元: 001 フォーム: 001 ラベル名称: ケースマーク(5行)

① 1 CASE MARK

2

3 "C/No. "1-3

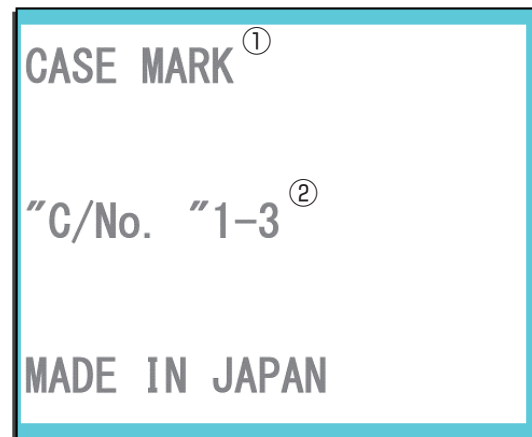
4

5 MADE IN JAPAN

③ 登録No. 1 | ④ 0話 なし | ⑤ 印刷枚数

閉じる 参照... クリア 印刷 プレビュー...

(出力例)



②の部分のみ 1～3 までカウントアップし、印刷されます。

- ① 1～5： 全角 20 文字以内（または半角 20 文字以内）の英数字および日本語を入力します。 (例) CASE MARK
数字のカウントを行うときは、カウント指定の数字以外の文字列をダブルクォーテーション（"）でくくります。 (例) "C/NO."
カウントする数字の入力は・・・
・ 範囲指定の場合は「-」を初期値と最終値の間に入力します。 (例) 1-3
・ 数字指定の場合はカンマ（,）を入力します。 (例) 1, 3, 5
- ② C/U： 数字をカウントする行にチェックマークを入れます。
- ③ 登録 No.： 3 桁以内の数字を入力します。（データを登録していない場合は入力の必要ありません） (例) 1
- ④ 0 話： カウントを行うときにカウント値を 0 話で印刷したい場合に桁数を選択します。
- ⑤ 印刷枚数： カウントを行わないときに、4 桁以内の印刷枚数を入力します。（カウントを行うときはカウント値を優先し、印刷枚数は無視します。） (例) 1234

📖 メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 1～5 の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。



メモ

- [参照] をクリックして、入力データの登録および参照が可能です。
＜ケースマークラベル (5 行) の参照ダイアログボックス＞

[登録 NO.]

登録 NO. を入力します。

新規登録の場合は 1 ～ 5 までのデータ部分が空白で表示されます。

[1 ～ 5]

全角 20 文字以内（または半角 20 文字以内）の英数字および日本語を入力します。

[インポート]

エクスポート機能で出力した CSV ファイルを読み込みます。エクスポート元と同じ行数のデータのみインポート可能です。

[エクスポート]

全登録データを CSV ファイルとして保存します。エクスポート可能なレコード数は、ヘッダーレコードを含めて最大 999 件です。

[読み込み]

登録データを入力画面に取り込みます。

[更新・追加]

登録データの修正、新規登録を行う場合にデータを更新登録します。

[削除]

登録データを削除します。

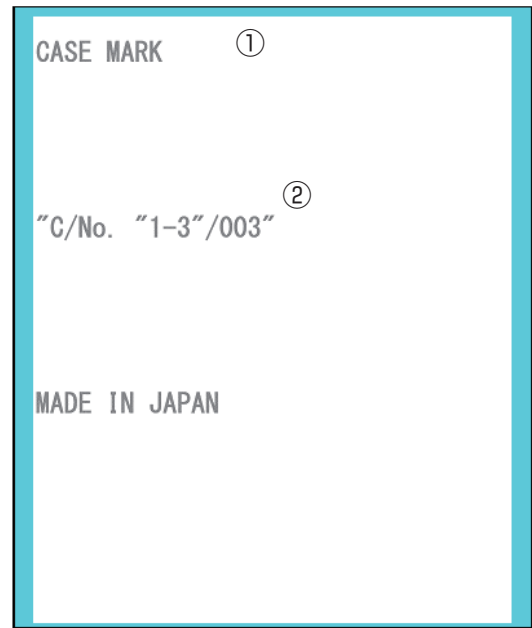
[閉じる]

データの登録 / 参照を終了します。

■ ケースマークラベル (10 行)

(画面例)

(出力例)



②の部分のみ 001/003 ~ 003/003 までカウントアップし、印刷されます。

- ① 1 ~ 10 : 全角 30 文字以内 (または半角 30 文字以内) の英数字および日本語を入力します。 (例) CASE MARK
 数字のカウントを行うときは、カウント指定の数字以外の文字列をダブルクォーテーション (") でくくります。 (例) "C/NO."
 カウントする数字の入力は . . .
 ・ 範囲指定の場合は 「-」 を初期値と最終値の間に入力します。 (例) 1-3
 ・ 数字指定の場合はカンマ (,) を入力します。 (例) 1, 3, 5
- ② C/U : 数字をカウントする行にチェックマークを入れます。
- ③ 登録 No. : 3 桁以内の数字を入力します。(データを登録していない場合は入力の必要ありません) (例) 1
- ④ 0 語 : カウントを行うときにカウント値を 0 語で印刷したい場合に桁数を選択します。
- ⑤ 印刷枚数 : カウントを行わないときに、4 桁以内の印刷枚数を入力します。(カウントを行うときは (例) 1234
 カウント値を優先し、印刷枚数は無視します。)

📖 メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 1 ~ 10 の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。



メモ

- [参照] をクリックして、入力データの登録および参照が可能です。
<ケースマークラベル (10 行) の参照ダイアログボックス>

[登録 NO.]

登録 NO. を入力します。

新規登録の場合は 1 ～ 10 までのデータ部分が空白で表示されます。

[1 ～ 10]

全角 30 文字以内 (または半角 30 文字以内) の英数字および日本語を入力します。

[インポート]

全登録データを CSV ファイルとして保存します。インポート可能なレコード数は、ヘッダーレコードを含めて最大 999 件です。エクスポート元と同じ行数のデータのみインポート可能です。

[エクスポート]

エクスポート機能で出力した CSV ファイルを読み込みます。

[読み込み]

登録データを入力画面に取り込みます。

[更新・追加]

登録データの修正、新規登録を行う場合にデータを更新登録します。

[削除]

登録データを削除します。

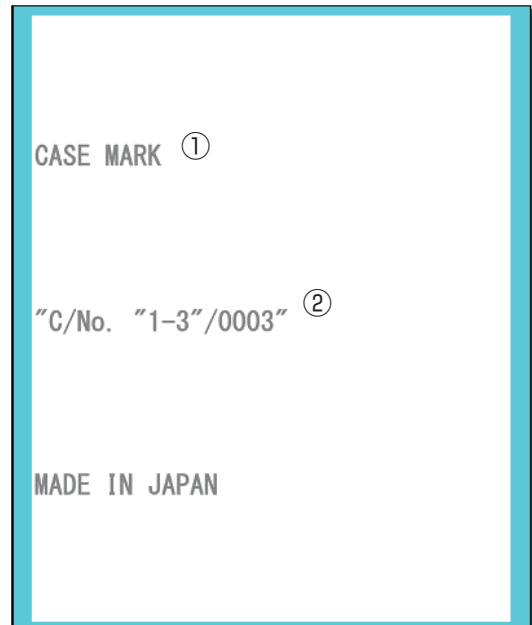
[閉じる]

データの登録 / 参照を終了します。

■ ケースマークラベル (15 行)

(画面例)

(出力例)



②の部分のみ 0001/0003 ~ 0003/0003 までカウントアップし、印刷されます。

- ① 1 ~ 15 : 全角 30 文字以内 (または半角 30 文字以内) の英数字および日本語を入力します。 (例) CASE MARK
数字のカウントを行うときは、カウント指定の数字以外の文字列をダブルクォーテーション (“ ”) でくくります。 (例) “C/NO.”
カウントする数字の入力は・・・
・ 範囲指定の場合は「-」を初期値と最終値の間に入力します。 (例) 1-3
・ 数字指定の場合はカンマ (,) を入力します。 (例) 1, 3, 5
- ② C/U : 数字をカウントする行にチェックマークを入れます。
- ③ 登録 No. : 3 桁以内の数字を入力します。(データを登録していない場合は入力の必要ありません) (例) 1
- ④ 0 語 : カウントを行うときにカウント値を 0 語で印刷したい場合に桁数を選択します。
- ⑤ 印刷枚数 : カウントを行わないときに、4 桁以内の印刷枚数を入力します。(カウントを行うときは (例) 1234
カウント値を優先し、印刷枚数は無視します。)

メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 1 ~ 15 の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。



- [参照] をクリックして、入力データの登録および参照が可能です。
＜ケースマークラベル (15 行) の参照ダイアログボックス＞

[登録 NO.]

登録 NO. を入力します。

新規登録の場合は 1 ～ 15 までのデータ部分が空白で表示されます。

[1 ～ 15]

全角 30 文字以内（または半角 30 文字以内）の英数字および日本語を入力します。

[インポート]

全登録データを CSV ファイルとして保存します。インポート可能なレコード数は、ヘッダーレコードを含めて最大 999 件です。エクスポート元と同じ行数のデータのみインポート可能です。

[エクスポート]

エクスポート機能で出力した CSV ファイルを読み込みます。

[読み込み]

登録データを入力画面に取り込みます。

[更新・追加]

登録データの修正、新規登録を行う場合にデータを更新登録します。

[削除]

登録データを削除します。

[閉じる]

データの登録 / 参照を終了します。

■ バーコードラベル

(画面例)

バーコードラベル 6行印刷 (AAA08)

依頼元 フォーム ラベル名称
001 001 バーコードラベル

① 文字入力1
1 BARCODE

② 文字入力2
2 LABEL

③ 文字入力3
3 SAMPLE

④ バーコード入力1
4 ABCDE

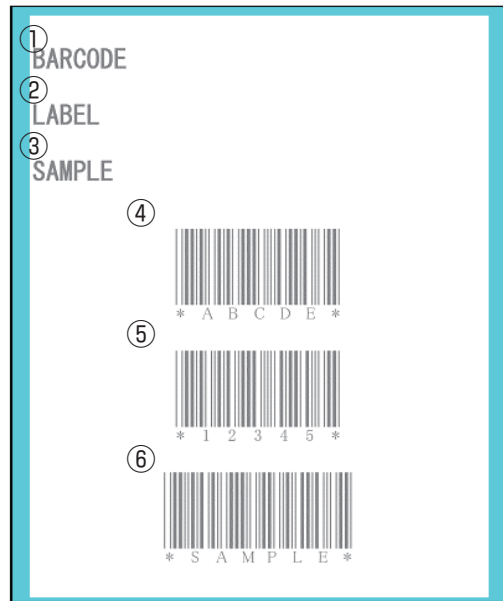
⑤ バーコード入力2
5 12345

⑥ バーコード入力3
6 SAMPLE

登録No. ⑦ 1 印刷枚数 ⑧

閉じる 参照... クリア 印刷 プレビュー...

(出力例)



- ①②③文字入力1～3： 全角30文字以内（または、半角30文字以内）の英数字および日本語を入力します。 (例) BARCODE
- ④⑤⑥バーコード入力1～3： 30文字以内の英数字を入力します。 (例) ABCDE
サンプルのフォームデータのバーコード種類は「CODE39」です。
- ⑦登録No.： 3桁以内の数字を入力します。（データを登録していない場合は入力の必要ありません） (例) 1
- ⑧印刷枚数： 印刷枚数を入力します。 (例) 1234

📖 メモ

- [クリア] をクリックすると、入力データを消去します。
- 文字入力1～3およびバーコード入力1～3の入力文字数が多いとき、フォームの設定によっては文字の一部が切れてしまう場合があります。印刷前にプレビュー画面にて確認してください。



メモ

- [参照] をクリックして、入力データの登録および参照が可能です。
＜バーコードラベルの参照ダイアログボックス＞

[登録 NO.]

登録 NO. を入力します。

新規登録の場合は 1 ～ 6 までのデータ部分が空白で表示されます。

[1 ～ 3]

全角 30 文字以内（または半角 30 文字以内）の英数字および日本語を入力します。

[4 ～ 6]

30 文字以内の英数字で入力します。

[読み込み]

登録データを入力画面に取り込みます。

[更新・追加]

登録データの修正、新規登録を行う場合にデータを更新登録します。

[削除]

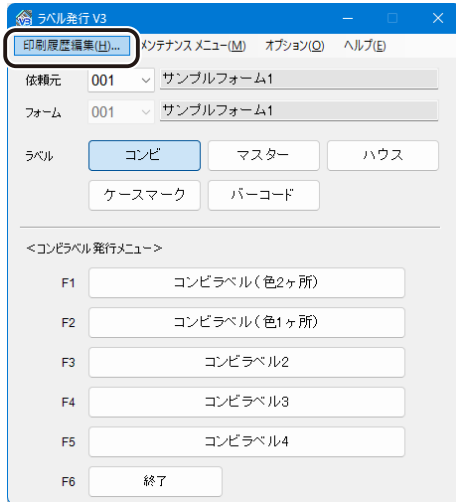
登録データを削除します。

[閉じる]

データの登録 / 参照を終了します。

印刷履歴編集

[印刷履歴編集] では、印刷履歴の保存 / 修正 / 削除を行います。



● [印刷履歴] 画面



[印刷履歴を作成する]

印刷履歴を作成する場合はチェックマークを入れます。初期値はチェックマーク無しです。

[年月]

コンピューター内部のカレンダー機能に従い、自動的に年月により集計されます。プルダウンすることで、他月に切り替えることができます。(例) 202510 → 2025年10月に印刷した履歴

[依頼]

印刷履歴を表示したい依頼元を選択します。

フォワーダー登録で登録したフォワーダーのハウスネーム (IATA 代理店コード) が表示されます。

[Count (左側)]

[依頼] の全印刷枚数が表示されます。

[Airline]

選択した [依頼] の印刷に使用した Airline またはラベルの種類が表示されます。

[Count (右側)]

選択した [依頼] の Airline またはラベルの種類別の内訳件数が表示されます。

[保存]

保存履歴の詳細データを CSV 形式で保存します。保存しておくことで、他のソフトウェアで履歴を編集することができます。クリックすると [名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

[ファイル名] には「LBXXXXXX」(XXXXXX は年月) と表示されますが、任意に名前を付けることができます。保存場

所を選択し、[保存] をクリックします。

[修正]

Airline の Count 件数を修正します。

クリックすると [印刷履歴修正] ダイアログボックスが表示されます。[カウント] に修正したい件数を入力します。

[削除]

[年月] で選択した年月の印刷履歴を削除します。

クリックすると削除の確認メッセージが表示され、[OK] をクリックすると削除されます。

[閉じる]

[印刷履歴] 画面を閉じます。

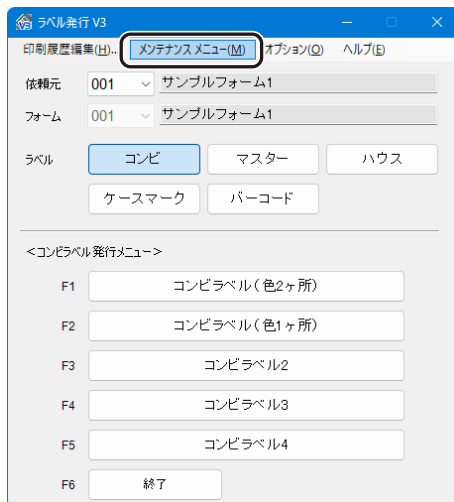


メモ

- 以下のような状況で印刷が中止された場合でも、印刷履歴には記録されます。
 - [印刷] をクリックしたあとに、「ロゴなしの状態です印刷しますか?」のメッセージ画面で「いいえ」をクリックして印刷を中止したとき
 - LX-D400(NE) ドライバーの印刷設定で出力プリンターが設定されていないとき
 - LX-D400 または LX-D5500 プリンターのステータスマニターや印刷キューウィンドウから印刷を中止したとき

メンテナンスメニュー

[メンテナンスメニュー] では、本ソフトウェアを使用する上での各種設定を行います。



[フォワーダー登録]

フォワーダーの追加 / 修正 / 削除を行います。

⇒ [「フォワーダー登録 \(P.42\)」](#)

[フォワーダー設定]

フォワーダーごとのレイアウト設定および入力項目・バーコード設定などを行います。

⇒ [「フォワーダー設定 \(P.43\)」](#)

[パラメーター設定]

デフォルトフォワーダーの設定 / フォワーダー固定の有無の設定などを行います。

⇒ [「パラメーター設定 \(P.63\)」](#)

[データベース最適化]

本ソフトウェアで使用しているデータベース (LabelP.mdb) を最適化します。フォワーダーの削除を何度も行ったときは最適化を実行してください。

[プリンター設定]

本ソフトウェアで使用するプリンターを設定します。

⇒ [「プリンター設定 \(P.64\)」](#)

[連携印刷オプション]

CSV 連携印刷の時に表示される、印刷中のダイアログの有無を設定します。

[連携印刷ログ表示]

連携印刷のログを表示します。履歴からラベルを再発行することもできます。

⇒ [「連携印刷ログ表示 \(P.65\)」](#)

■ フォワーダー設定

フォワーダー別に、レイアウト設定および入力項目やバーコード設定などを行います。
 [ハウスネーム] をプルダウンから選びます。

ラベル	コンビ	フォーム名	参照	入力形式	詳細 設定済	詳細 設定
	1	AAA01	--	コンビ1	Yes	--
	2	AAA02	--	コンビ1	Yes	--
	3	AAA03	--	コンビ2	Yes	--
	4	AAA03	--	コンビ3	Yes	--
	5	AAA03	--	コンビ4	Yes	--
	マスター					
	1	COMB2	--	マスター1	Yes	--
	2	COMB2	--	マスター1	Yes	--
	ハウス					
	1	AAA04	--	ハウス1	Yes	--
	2	AAA04	--	ハウス2	Yes	--
	3	AAA04	--	ハウス3	Yes	--
	4	AAA04	--	ハウス4	Yes	--
	5		--	未使用		--

「次へ/前へ」を使用すると、「フォワーダー設定 1 (メニュー登録)」と「フォワーダー設定 2 (メニュー登録)」の画面を切り替えることができます。

・ フォワーダー設定1 (メニュー登録)

・ フォワーダー設定2 (メニュー登録)

[ハウスネーム]

フォワーダー登録で登録されたフォワーダーが表示されます。プルダウンから選択します。

[フォーム名]

入力形式に合わせたフォーム名を入力します。(英数字 5 桁) または、[参照] をクリックして設定します。

[参照]

「フォーム名」を設定することができます。フォームファイルを選択し、[開く] をクリックしてください。

本ソフトウェアで設定できるファイル形式は、以下のフォームファイルです：

「フォーム設計 (NE) for LX-D5500」で作成されたファイル (*.LIF)

「フォーム設計 (NE)」(LX 760 用)で作成されたファイル (*.FMT)

ファイル名が英数字 5 桁より長いフォームファイルは設定できません。

[入力形式]

コンビ (未使用、コンビ 1～4)、マスター (未使用、マスター 1)、ハウス (未使用、ハウス 1～4)、ケース (未使用、ケース 05 行、ケース 10 行、ケース 15 行)、バーコード (未使用、バーコード 06 行) の中から選択します。

[詳細設定済]

詳細設定が済んでいる場合に「YES」が表示されます。

[詳細設定]

各ラベル（フォーム）別に、作成画面の詳細設定を行います。クリックすると、詳細定義画面が開きます。

コンビラベル 1	⇒ 「[詳細設定] コンビラベル 1 (P.45)」
コンビラベル 2	⇒ 「[詳細設定] コンビラベル 2 (P.47)」
コンビラベル 3	⇒ 「[詳細設定] コンビラベル 3 (P.49)」
コンビラベル 4	⇒ 「[詳細設定] コンビラベル 4 (P.51)」
マスターラベル	⇒ 「[詳細設定] マスターラベル 1 (P.53)」
ハウ斯拉ベル 1	⇒ 「[詳細設定] ハウ斯拉ベル 1 (P.54)」
ハウ斯拉ベル 2	⇒ 「[詳細設定] ハウ斯拉ベル 2 (P.56)」
ハウ斯拉ベル 3	⇒ 「[詳細設定] ハウ斯拉ベル 3 (P.58)」
ハウ斯拉ベル 4	⇒ 「[詳細設定] ハウ斯拉ベル 4 (P.60)」
ケースマークラベル (5 行)	⇒ 「[詳細設定] ケースマークラベル (P.62)」
ケースマークラベル (10 行)	
ケースマークラベル (15 行)	
バーコードラベル	⇒ 「[詳細設定] バーコードラベル (P.62)」

[更新]

現在入力されている内容でフォワーダー設定（メニュー登録）が更新されます。

[標準に戻す]

本ソフトウェアの設定が初期値に戻ります。ただし、新規に登録されたフォワーダーは初期化の対象外となります。

● [詳細設定] コンビラベル 1

[入力形式] が「コンビ 1」の詳細設定をクリックすると、[コンビラベル 1 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[House Name]

House Name を入力します。入力すると、ラベル作成画面の初期値として登録されます。（英数 3 桁以内）

[入力設定]

Airline または Airline code のどちらから入力するかを選択します。

Airline : Airline の 2 レター（2 桁）より入力を行います。

Airline code : Airline code（3 桁）より入力を行います。

[チェック機能]

Air Waybill No. : Air Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

House Waybill No. : House Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

個数 : 個数の入力確認を、印刷ボタンをクリックした時に行う場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

[使用項目]

個数 : マスターの個数を入力する場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。
色分け : マスターの Destination を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

[その他] の「色分け（2ヶ所）」にチェックマークが入っていない場合は、House 側の仕向地の背景に色が付きます。

（赤 : RED、黄 : YEL、青 : BLU、茶 : BRO、緑 : GRE、紫 : PUR）

分割搬入個数 : 分割搬入個数として、Total No. of HWB Pieces とは別に使用する場合にチェックマークを入れます。
（Total No. of HWB Pieces 以下の数値入力が可能）

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

色分け（2ヶ所） : 色分け指定時に個数にも色分けをする場合にチェックマークを入れます。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

前付加		後付加	付加順
<input type="checkbox"/>			
<input checked="" type="checkbox"/>	H	House Name	1
<input type="checkbox"/>		House Waybill No.	+
<input checked="" type="checkbox"/>	D	Destination	+
<input type="checkbox"/>		分割搬入個数	
<input checked="" type="checkbox"/>	S	Total No. of HWB Pieces	+
<input type="checkbox"/>		HWB Piece No.	

- ・ 予備項目（[House Name] の上の空欄（英数 3 桁以内））、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] コンビラベル 2

[入力形式] が「コンビ 2」の詳細設定をクリックすると、[コンビラベル 2 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[入力設定]

Airline または Airline code のどちらから入力するかを選択します。

Airline : Airline の 2 レター（2 桁）より入力を行います。

Airline code : Airline code（3 桁）より入力を行います。

[チェック機能]

Air Waybill No. : Air Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

個数 : 個数の入力確認を、印刷ボタンをクリックした時に行う場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

[使用項目]

個数 : マスターの個数を入力する場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

色分け : 仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤 : RED、黄 : YEL、青 : BLU、茶 : BRO、緑 : GRE、紫 : PUR）

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

HWB No. 開始位置を指定する : 開始位置を指定する場合は、チェックマークを入れて、「1 ~ 13」の範囲で数値を入力します。

例えば、「ABC12345678」の文字列から「12345678」の部分のみを出力したい場合は「4」を入力します。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

前付加		後付加	付加順
<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>
H	House Waybill No.	+	1
D	Destination	+	2
S	Total No. of HWB Pieces	+	3
<input type="text"/>	HWB Piece No.	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ・ 予備項目（[House Name] の上の空欄（英数 3 桁以内））、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] コンビラベル3

[入力形式] が「コンビ3」の詳細設定をクリックすると、[コンビラベル3 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[入力設定]

Airline または Airline code のどちらから入力するかを選択します。

Airline : Airline の 2 レター（2 桁）より入力を行います。

Airline code : Airline code（3 桁）より入力を行います。

[チェック機能]

Air Waybill No. : Air Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

個数 : 個数の入力確認を、印刷ボタンをクリックした時に行う場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

[使用項目]

個数 : マスターの個数を入力する場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

色分け : 仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤 : RED、黄 : YEL、青 : BLU、茶 : BRO、緑 : GRE、紫 : PUR）

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

HWB No. 開始位置を指定する : 開始位置を指定する場合は、チェックマークを入れて、「1 ~ 13」の範囲で数値を入力します。

例えば、「ABC12345678」の文字列から「12345678」の部分のみを出力したい場合は「4」を入力します。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

前付加		後付加	付加順
I			
H	House Waybill No.	+	1
	Destination		
S	Total No. of HWB Pieces	+	2
	HWB Piece No.		

- ・ 予備項目（[House Name] の上の空欄（英数 3 桁以内））、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] コンビラベル 4

[入力形式] が「コンビ 4」の詳細設定をクリックすると、[コンビラベル 4 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[Prefix]

Prefix を入力します。入力すると、ラベル作成画面の House Name の初期値として登録されます。（英数字 4 桁以内）

[入力設定]

Airline または Airline code のどちらから入力するかを選択します。

Airline : Airline の 2 レター（2 桁）より入力を行います。

Airline code : Airline code（3 桁）より入力を行います。

[チェック機能]

Air Waybill No. : Air Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

House Waybill No. : House name が数字のときは、House Waybill No. の 8 桁目が前 6 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

House name が英数字のときは、House Waybill No. の 7 桁目が前 6 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

個数 : 個数の入力確認を、印刷ボタンをクリックした時に行う場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

[使用項目]

個数 : マスターの個数を入力する場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

色分け : 仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤 : RED、黄 : YEL、青 : BLU、茶 : BRO、緑 : GRE、紫 : PUR）

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

色分け（2ヶ所） : 色分け指定時に個数にも色分けをする場合にチェックマークを入れます。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

前付加		後付加	付加順
<input checked="" type="checkbox"/>			1
<input type="checkbox"/>	House Name	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	House Waybill No.	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	Destination	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	分割搬入個数	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	Total No. of HWB Pieces	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	HWB Piece No.	<input type="checkbox"/>	

- ・ 予備項目 ([House Name] の上の空欄 (英数 3 桁以内))、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] マスターラベル 1

[入力形式] が「マスター 1」の詳細設定をクリックすると、[マスターラベル 1 詳細定義] 画面が表示されます。

登録名称 001 サンプルフォーム1
メニュー番号 1
フォーム名 COMB2
ラベル名称 マスターラベル(個数あり)

入力設定
 Airline Airline code

チェック機能
 Air Waybill No. 個数

使用項目
 個数 付加情報

OK キャンセル

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定 (メニュー登録) 画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。(全角 15 文字以内 (または、半角 30 文字以内) の英数字および日本語)

[入力設定]

Airline または Airline code のどちらから入力するかを選択します。

Airline : Airline の 2 レター (2 桁) より入力を行います。

Airline code : Airline code (3 桁) より入力を行います。

[チェック機能]

Air Waybill No. : Air Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

個数 : 個数の入力確認を、印刷ボタンをクリックした時に行う場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

[使用項目]

個数 : マスターの個数を入力する場合にチェックマークを入れます。ラベル上では [Total No of Pieces] と表示されます。

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。(30 文字以内の英数字および日本語)

● [詳細設定] ハウスラベル 1

[入力形式] が「ハウス 1」の詳細設定をクリックすると、[ハウスラベル 1 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[House Name]

House Name を入力します。入力すると、ラベル作成画面の初期値として登録されます。（英数字 3 桁以内）

[チェック機能]

House Waybill No. : House Waybill No. の 8 桁目が前 7 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

[使用項目]

色分け：仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤：RED、黄：YEL、青：BLU、茶：BRO、緑：GRE、紫：PUR）

分割搬入個数：分割搬入個数として、Total No. of HWB Pieces とは別に使用する場合チェックマークを入れます。

（Total No. of HWB Pieces 以下の数値入力が可能）

Total No. of HWB Pieces : Total No. of HWB Pieces を入力する場合にチェックマークを入れます。

付加情報：付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

No	前付加	後付加	付加順
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	H	House Name	1
1		House Waybill No.	2
2	D	Destination	1
	<input type="checkbox"/>	分割搬入個数	<input type="checkbox"/>
2	S	Total No. of HWB Pieces	2
	<input type="checkbox"/>	HWB Piece No.	<input type="checkbox"/>

- ・ 予備項目（[House Name] の上の空欄（英数 3 桁以内））、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] ハウスラベル 2

[入力形式] が「ハウス 2」の詳細設定をクリックすると、[ハウスラベル 2 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[使用項目]

色分け：仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤：RED、黄：YEL、青：BLU、茶：BRO、緑：GRE、紫：PUR）

Total No. of HWB Pieces：Total No. of HWB Pieces を入力する場合にチェックマークを入れます。

付加情報：付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

HWB No. 開始位置を指定する：開始位置を指定する場合は、チェックマークを入れて、「1 ～ 13」の範囲で数値を入力します。

例えば、「ABC12345678」の文字列から「12345678」の部分のみを出力したい場合は「4」を入力します。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

No	前付加	後付加	付加順	
1	H	House Waybill No.	+	1
2	D	Destination	+	1
2	S	Total No. of HWB Pieces	+	2
		HWB Piece No.		

- ・ 予備項目（[House Name] の上の空欄（英数 3 桁以内））、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] ハウスラベル 3

[入力形式] が「ハウス 3」の詳細設定をクリックすると、[ハウスラベル 3 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[使用項目]

色分け：仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。
（赤：RED、黄：YEL、青：BLU、茶：BRO、緑：GRE、紫：PUR）

Total No. of HWB Pieces： Total No. of HWB Pieces を入力する場合にチェックマークを入れます。

付加情報：付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[その他]

HWB No. 開始位置を指定する：開始位置を指定する場合は、チェックマークを入れて、「1 ～ 13」の範囲で数値を入力します。
例えば、「ABC12345678」の文字列から「12345678」の部分のみを出力したい場合は「4」を入力します。

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

No	前付加	後付加	付加順
1	H	House Waybill No.	1
2	D	Destination	1
2	S	Total No. of HWB Pieces	2
		HWB Piece No.	

- ・ 予備項目 ([House Name] の上の空欄 (英数 3 桁以内))、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] ハウスラベル4

[入力形式] が「ハウス4」の詳細設定をクリックすると、[ハウスラベル4 詳細定義] 画面が表示されます。

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[Prefix]

Prefix を入力します。

入力すると、ラベル作成画面の House Name の初期値として登録されます。（英数字 4 桁以内）

[チェック機能]

House Waybill No. : House name が数字のときは、House Waybill No. の 8 桁目が前 6 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

House name が英数字のときは、House Waybill No. の 7 桁目が前 6 桁の数字で 7 チェック実行した値と等しいかを、印刷ボタンをクリックした時に確認します。

[使用項目]

色分け : 仕向地を配送目的などにより分類する場合にチェックマークを入れます。

（赤 : RED、黄 : YEL、青 : BLU、茶 : BRO、緑 : GRE、紫 : PUR）

分割搬入個数 : 分割搬入個数として、Total No. of HWB Pieces とは別に使用する場合チェックマークを入れます。（Total No. of HWB Pieces 以下の数値入力が可能）

Total No. of HWB Pieces : Total No. of HWB Pieces を入力する場合にチェックマークを入れます。

付加情報 : 付加情報としてコメントを印刷する場合にチェックマークを入れます。（30 文字以内の英数字および日本語）

[ハウスバーコード指定]

ハウスバーコードデータとして使用する項目を選択します。クリックすると、ハウスバーコード指定ダイアログボックスが開きます。

No	前付加	後付加	付加順
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	House Name	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	House Waybill No.	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	Destination	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	分割搬入個数	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	Total No. of HWB Pieces	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	HWB Piece No.	<input type="checkbox"/>

- ・ 予備項目 ([House Name] の上の空欄 (英数 3 桁以内))、[House Name]、[House Waybill No]、[Destination]、[分割搬入個数]、[Total No. of HWB Pieces] [HWB Piece No.] の中から、ハウスバーコードとして使用する項目を選択します。
- ・ 付加順を選択したものがバーコードの合成対象になります。
- ・ 前付加および後付加に 1 桁の記号を入力した場合、対象項目の前後にそれぞれ記号が付加され、バーコードは付加順の番号順に合成されます。

● [詳細設定] ケースマークラベル

[入力形式] が「ケース 05 行」、「ケース 10 行」、「ケース 15 行」の詳細設定をクリックすると、[ケースマークラベル詳細定義] 画面が表示されます。

登録名称	001	サンプルフォーム1
メニュー番号	1	
フォーム名	AAA05	
ラベル名称	ケースマーク(5行)	
データ行数	5	

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

[データ行数]

ケースマークラベル作成画面の入力行数を表示します。

● [詳細設定] バーコードラベル

[入力形式] が「バーコード 06 行」の詳細設定をクリックすると、[バーコードラベル詳細定義] 画面が表示されます。

登録名称	001	サンプルフォーム1
メニュー番号	1	
フォーム名	AAA08	
ラベル名称	バーコードラベル	
データ行数	6	

[登録名称 / メニュー番号 / フォーム名 / ラベル名称]

フォワーダー設定（メニュー登録）画面で選択したフォワーダー / メニュー表示順 / フォーム名 / ラベル名が表示されます。ラベル名称には、ラベル作成メニューに表示させる名称を入力します。（全角 15 文字以内（または、半角 30 文字以内）の英数字および日本語）

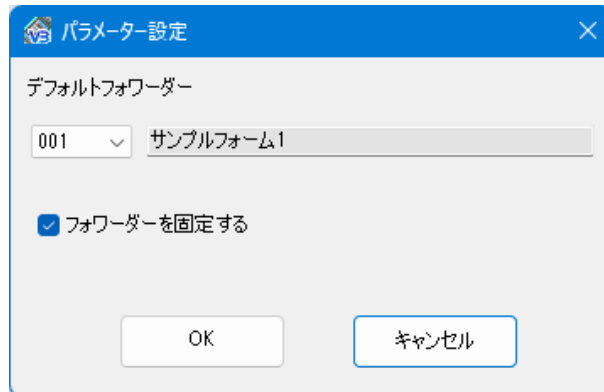
[データ行数]

バーコードラベル作成画面の入力行数を表示します。

■ パラメーター設定

[メンテナンスメニュー] > [パラメーター設定]

デフォルトフォワーダーの設定 / フォワーダー固定の有無の設定などを行います。



[デフォルトフォワーダー]

本ソフトウェアの各メニューで、最初に表示される依頼元を設定します。

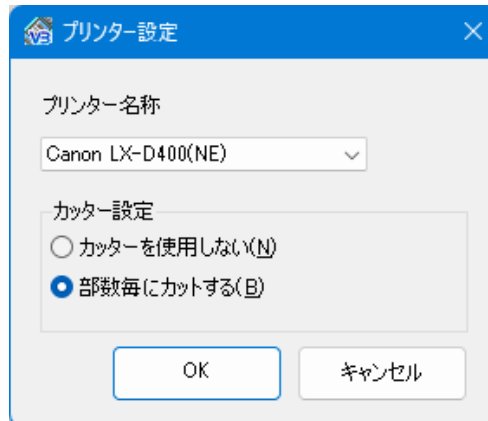
[フォワーダーを固定する]

チェックマークを付けると、本ソフトウェアの各メニューのフォームを固定するようになります。

■ プリンター設定

[メンテナンスメニュー] > [プリンター設定]

本ソフトウェアで使用するプリンターを設定します。



[プリンター名称]

印刷に使用するプリンター（例：Canon LX-D400(NE)）を選択します。

[カッター設定]

カッターを使用しない：印刷時にカットをしない場合を選択します。

部数毎にカットする：印刷の開始 / 終了時と、部数単位でカットする場合を選択します。

メモ

- ご使用の環境に複数の LX-D400 または LX-D5500 プリンターがある場合は、LX-D400(NE) ドライバーをプリンターの台数分追加登録する必要があります。印刷設定の「出力プリンター」にそれぞれ異なるプリンターを指定することで、「ラベル発行 V3」で出力先を選択した印刷が可能になります。
LX-D400(NE) ドライバーのインストールおよび設定については、「インストールガイド」を参照してください。
- ご使用の環境に複数の LX-D400 または LX-D5500 プリンターがある場合、カッター設定はすべてのプリンターで共通となります。プリンターごとにカッター設定を分けることはできません。

■ 連携印刷ログ表示

[メンテナンスメニュー] > [連携印刷ログ表示]

CSV 連携印刷のログを表示し、ラベルの再発行などを行います。

ステータス	CSV名	連携日時	印刷日時	ラベル種類	発行枚数	ハウスコード	ラベルID	AWB No.	仕向けコード
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルA	1000	001	001		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルB	1000	001	002		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルC	1000	001	003		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルD	1000	001	004		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルE	1000	001	005		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルF	1000	001	006		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルG	1000	001	007		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルH	1000	001	008		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルI	1000	001	009		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルJ	1000	001	010		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルK	1000	001	011		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルL	1000	001	012		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルM	1000	001	013		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルN	1000	001	014		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルO	1000	001	015		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルP	1000	001	016		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルQ	1000	001	017		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルR	1000	001	018		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルS	1000	001	019		
印刷済み	連携印刷用CSV	2023/01/01 10:00:00	2023/01/01 10:00:00	ラベルT	1000	001	020		

[再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを再発行します。再発行する枚数を指定して、[再発行] をクリックします。

以下のデータは、再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] である
- ・プリンターが未選択の状態 (前回選択したプリンターがシステム上に存在しない)

[枚数を指定して再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを、指定した枚数で再発行します。

以下のデータは、枚数を指定した再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] である
- ・カウントアップ機能を使用している
- ・複数行が選択されており、[HWB Piece No.] に対応した連携印刷ログが含まれている
- ・プリンターが未選択の状態 (前回選択したプリンターがシステム上に存在しない)

[HWBP No. に連動したラベルの再発行]

全数ラベルを発行する：すべてのラベルを再発行します。

任意のラベルのみ発行する：再発行するラベルを指定します。

[プレビュー]

選択した連携印刷ログデータのラベルのプレビューを表示します。

以下のデータは、プレビューができません。

- ・ラベル種類が [不明] である
- ・LX-D400(NE) ドライバー以外のプリンターが選択されている

[最新の状態に更新]

連携印刷ログデータの情報を、最新に更新します。

[表示月]

連携印刷ログデータの表示月を切り替えます。

連携印刷ログデータは各月ごとに専用のフォルダーが自動作成され、そこに保存されます。

[ラベル種類]

ログの一覧に表示されるラベルの種類を切り替えます。



メモ

- 複数のデータを選択した状態で [プレビュー] をクリックすると、個別選択モードに切り替わります。複数のデータを選択する場合は、[ctrl] キーまたは [shift] キーを押しながら、対象のデータを選択してください。

ステータス	CSV名	連携日時	印刷日時	ラベル種類	発行枚数	ハウスコード	ラベルID	AWB No.	仕向地コード
印刷済み	連携印刷ログ	2023/04/01 10:00:00	2023/04/01 10:00:00	ラベルA	100	001	001		
印刷済み	連携印刷ログ	2023/04/01 10:00:00	2023/04/01 10:00:00	ラベルB	100	001	002		
印刷済み	連携印刷ログ	2023/04/01 10:00:00	2023/04/01 10:00:00	ラベルC	100	001	003		
印刷済み	連携印刷ログ	2023/04/01 10:00:00	2023/04/01 10:00:00	ラベルD	100	001	004		
印刷済み	連携印刷ログ	2023/04/01 10:00:00	2023/04/01 10:00:00	ラベルE	100	001	005		

[再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを再発行します。

以下のデータは、再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] である

[すべて再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを、上から順にすべて再発行します。

以下のデータは、すべて再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] なデータが含まれている

[枚数を指定して再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを、指定した枚数で再発行します。

以下のデータは、枚数を指定した再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] である
- ・カウントアップ機能を使用したデータが含まれている

[すべて枚数を指定して再発行]

選択した連携印刷ログデータのラベルを、上から順にすべて、指定した枚数で再発行します。

以下のデータは、枚数を指定した再発行ができません。

- ・ラベル種類が [不明] である
- ・カウントアップ機能を使用したデータが含まれている
- ・ [HWB Piece No.] に対応した連携印刷ログが含まれている

[プレビュー]

選択した連携印刷ログデータのラベルをプレビュー表示します。

以下のデータは、プレビューができません。

- ・ラベル種類が [不明] である

ユーザーズガイドを読む

■ オンライン上に公開されているユーザーズガイドを読む

キヤノンホームページに公開されているユーザーズガイドを開きます。

- 1 [ヘルプ]メニューから[オンラインマニュアルを見る]をクリックします。



- インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

■ コンピューターに登録したユーザーズガイドを読む

オフラインのコンピューターでインターネットを使用せずにユーザーズガイドを読むには、事前に以下の手順でユーザーズガイドに登録してください。

- 1 キヤノンホームページにアクセスして、ラベル発行 V3 のユーザーズガイドをダウンロードします。

キヤノンホームページ：canon.jp/aircargo-dl



- インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

- 2 本ソフトウェアを起動します。

⇒「起動する (P.8)」

- 3 [オプション]メニューから[環境設定]をクリックします。

- 4 [参照]をクリックします。

- 5 登録するユーザーズガイドを選び、[開く]をクリックします。

ラベル発行 V3 ユーザーズガイド：lv3_ug_ja_nnn.pdf (“nnn” の部分は数字)

- 6 [OK]をクリックします。

- 7 [ヘルプ]メニューから[オフラインマニュアルを見る]をクリックします。

システム連携モジュール V3 からの印刷

CSV 形式のファイル（連携ファイル）を所定のフォルダーに保存することで、指定された内容のラベルが自動で印刷されます。


フォルダーは常時監視されており、システム連携モジュール V3 が新しいファイルを検出すると、ラベル印刷が自動的に開始されます。



- CSV 形式のファイルの仕様については、「[CSV 形式ファイルの仕様 \(P80\)](#)」を参照してください。
- 印刷履歴を確認したい場合や、印刷履歴から再印刷したい場合は、「[連携印刷ログ表示 \(P65\)](#)」を参照してください。
- 印刷中に表示されるダイアログの表示設定は、[メンテナンスメニュー] 内の [連携印刷オプション] で変更できます。

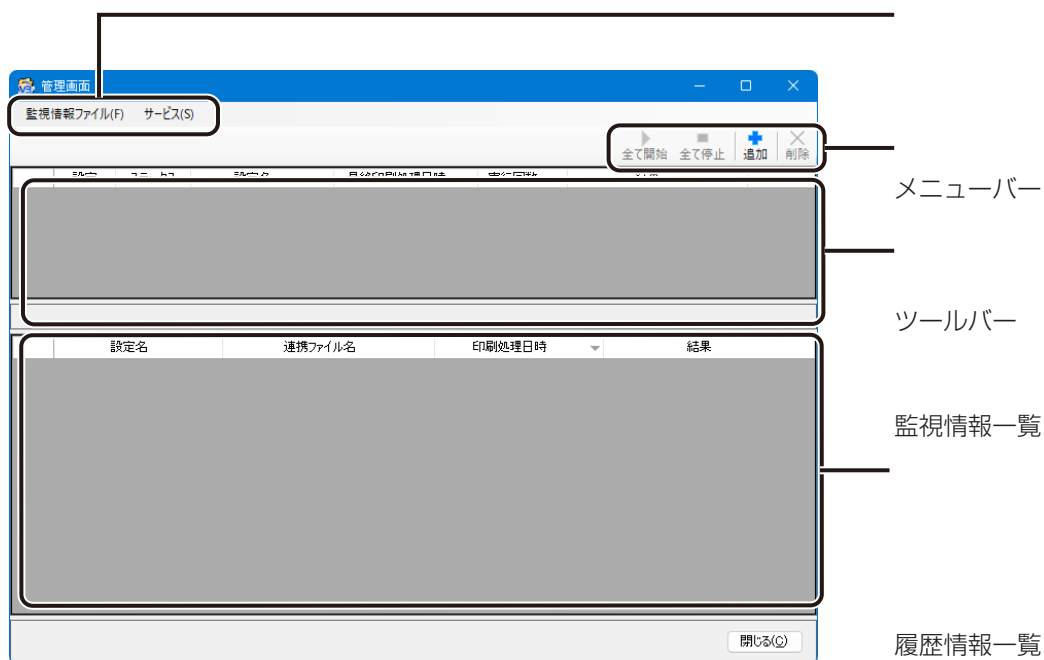
■ 管理画面を表示する

ラベルの自動印刷を管理する画面を表示します。

1 タスクバーの「^」アイコン（隠れているインジケータを表示します）をクリックして、のアイコンを右クリックします。

2 右クリックで表示されるメニューから「管理画面を表示」をクリックします。



管理画面が表示されます。





● メニューバー

[監視情報ファイル] メニュー	監視情報一覧に登録されている監視情報（監視情報ファイル (*.NE))を、エクスポート/インポートします。
[サービス] メニュー	連携サービスの再起動やアカウント設定を行います。

● ツールバー

[全て開始] 	監視情報一覧に登録されている全ての監視情報の監視を開始します。
[全て停止] 	監視情報一覧に登録されている全ての監視情報の監視を停止します。

<p>[追加]</p> 	<p>新しい設定を追加します。</p>
<p>[削除]</p> 	<p>選んだ設定を削除します。</p>

- 監視情報一覧

設定されている管理情報が表示されます。また、各管理情報の状態（監視中／印刷中／停止中）を確認および切り替えることができます。最大3件の監視情報を登録できます。

⇒「[監視情報を設定する \(P.72\)](#)」

- 履歴情報一覧

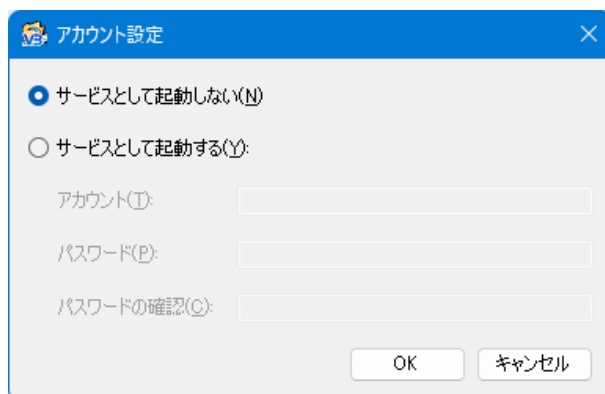
監視情報設定にしたがって、印刷が実行された結果が表示されます。

 メモ

- [全て開始] および [全て停止] は、インジケータ— を右クリックして表示されるメニューから設定することもできます。

■ システム連携モジュール V3 をサービスとして起動する

サービス起動を設定すると、ユーザーがコンピューターにサインインしていない状態でも、CSV ファイルによる連携印刷を自動で実行できます。



[サービスとして起動しない]

コンピューターにサインインしている状態で監視を実行します。

[サービスとして起動する]

コンピューターにサインアウトしている状態で監視を実行します。

この設定を行うためには、コンピューターの「アカウント名」、「パスワード」、「パスワードの確認」の入力が必要です。

メモ

- サービスに登録するアカウントには、「サービスとしてログオンする」アクセス許可が必要です。このアクセス許可が付与されていない場合、サービスの設定はできません。

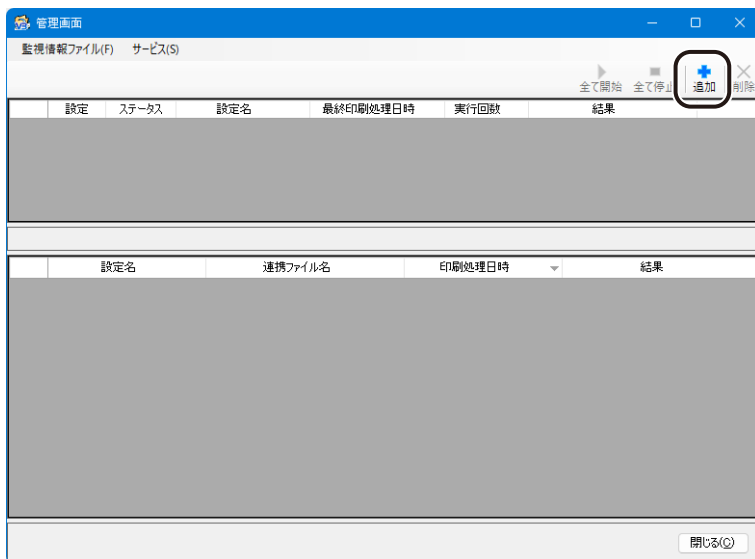
■ 監視情報を設定する

監視方法や印刷設定を、監視フォルダーごとに監視情報として設定します。

1 管理画面を表示します。

⇒「管理画面を表示する (P.69)」

2 をクリックします。



3 [設定] をクリックします。



[監視情報設定] ダイアログボックスが表示されます。

4 監視情報の名称を [設定名] に入力します。

監視情報設定

基本設定

設定名 (N):

プリンター設定

プリンター名称 (M): Canon LX-D400(NE)

カッター設定

カッターを使用しない (N)

部数毎にカットする (B)

監視情報設定

監視フォルダー (M): C:\D400LB\PrtData

参照 (R)...

フォルダーを開く (E)...

起動時に監視情報の監視を開始する (J)

起動時に監視フォルダー内の連携ファイルを全て削除する (E)

連携ファイル検出から印刷処理開始までの待機時間 (I): 5 秒

一定間隔で監視フォルダーを監視する (通常はオフで使用します) (P)

印刷処理後の連携ファイル設定

印刷処理後に連携ファイルを移動する (S)

移動先フォルダー (G): C:\D400LB\PrtData\Printed

参照 (J)...

保存期間指定 (I): 5 日間 (保存後に削除) フォルダーを開く (O)...

印刷処理後に連携ファイルを削除する (D)

OK キャンセル



メモ

- 設定名の最大文字数は半角、全角ともに 30 文字です。

5 システム連携印刷時に使用するプリンタードライバー、およびカッターの設定を指定します。

プリンタードライバーは、LX-D400(NE) プリンターを選びます。

監視情報設定

基本設定

設定名 (N):

プリンター設定

プリンター名称 (M): Canon LX-D400(NE)

カッター設定

カッターを使用しない (N)

部数毎にカットする (B)

監視情報設定

監視フォルダー (M): C:\D400LB\PrtData

参照 (R)...

フォルダーを開く (E)...

起動時に監視情報の監視を開始する (J)

起動時に監視フォルダー内の連携ファイルを全て削除する (E)

連携ファイル検出から印刷処理開始までの待機時間 (I): 5 秒

一定間隔で監視フォルダーを監視する (通常はオフで使用します) (P)

印刷処理後の連携ファイル設定

印刷処理後に連携ファイルを移動する (S)

移動先フォルダー (G): C:\D400LB\PrtData\Printed

参照 (J)...

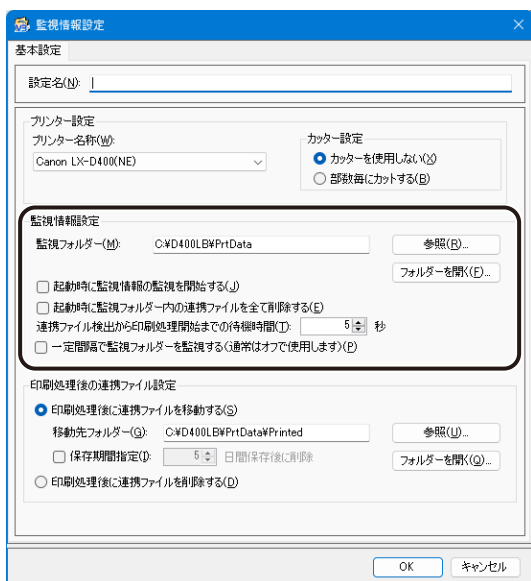
保存期間指定 (I): 5 日間 (保存後に削除) フォルダーを開く (O)...

印刷処理後に連携ファイルを削除する (D)

OK キャンセル

6 監視フォルダーを指定します。

「ラベル発行V3」のインストール先を「C:¥D400LB」にした場合は、「C:¥D400LB¥PrtData」となります。



必要に応じて、監視方法に関する設定を行います。

[起動時に監視情報の監視を開始する]

「システム連携モジュールV3」の起動時に、監視フォルダーへの監視を自動的に始める場合に設定します。

[起動時に監視フォルダー内の連携ファイルを全て削除する]

監視を開始したときに、監視フォルダー内の連携ファイルを削除する場合に設定します。

[連携ファイル検出から印刷処理開始までの待機時間]

監視フォルダーに格納された連携ファイルを検出してから、印刷を開始するまでの待機時間を設定します。
初期設定は「5（秒）」となっています。（入力範囲：1～60000秒）

[一定間隔で監視フォルダーを監視する]

通常は設定する必要はありません。監視フォルダーが Windows OS 以外の場所にある場合に設定します。

7 印刷完了後の連携ファイルの処理方法を指定します。



【印刷処理後に連携ファイルを移動する】

印刷完了後、連携ファイルを残したい場合に選びます。

連携ファイルは、[移動先フォルダー] で指定されているフォルダーに移動します。

連携ファイルは、監視フォルダーから移動先フォルダーへ移動する際、ファイル名に印刷日時 (yyyy/MM/dd HH:mm:ss.fff) を付加します。

例) 「2025/10/01 15:25:30.123」に印刷された場合

ファイル名 + 20251001152530123.csv

【移動先フォルダー】

印刷が完了した連携ファイルの移動先を指定します。

「ラベル発行 V3」のインストール先を「C:\D400LB」にした場合は、初期設定では移動先が「C:\D400LB\PrtData」となっています。

【保存期間指定】

移動先フォルダー内の連携ファイルの保存期間を指定する場合は、チェックマークを入れて、保存する日数を指定します。(入力範囲：1～365日)

【印刷処理後に連携ファイルを削除する】

印刷完了後、連携ファイルを削除します。

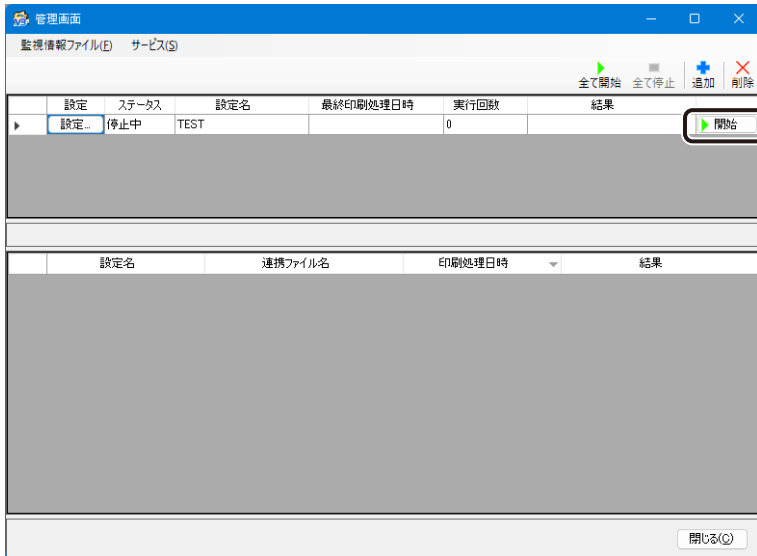
8 【OK】をクリックします。

監視情報が設定されます。

■ 監視フォルダーの監視を開始する

監視情報設定にしたがって、監視フォルダーの監視を開始します。

1 監視を開始する設定の **▶ 開始** をクリックします。



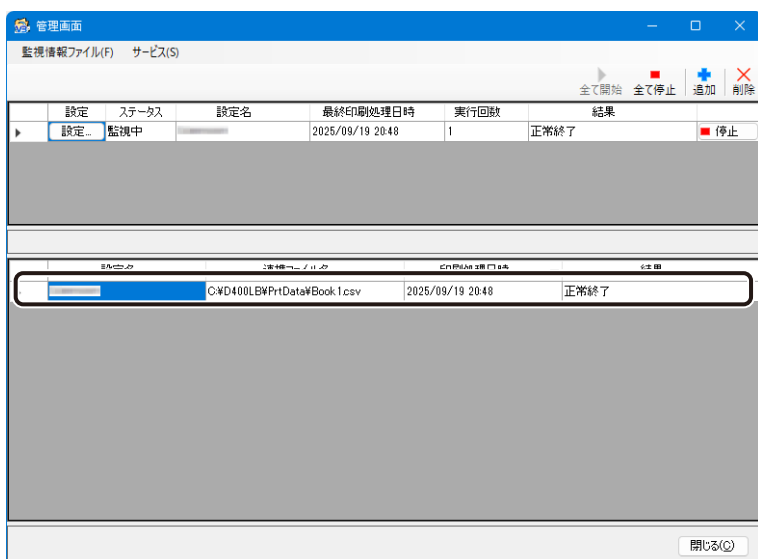
ステータスが [停止中] から [監視中] に変わります。

メモ

- 「ステータス」には、監視情報の状態が表示されます。
停止中：監視処理が開始される前の状態であることを示します。
監視中：監視処理が開始され、連携ファイルによる印刷指示を待っている状態であることを示します。
印刷中：印刷が開始された状態であることを示します。
- 監視を停止する場合は、停止したい監視情報設定の **■ 停止** をクリックします。
- 監視情報の設定に問題がある場合は、[結果] の欄にメッセージが表示されます。
⇒ 「メッセージ一覧 (P.78)」

2 監視フォルダーに連携ファイルが格納されると、ステータスが [監視中] から [印刷中] に変わり、指定した印刷設定にしたがって印刷が開始されます。

印刷が実行されると、印刷履歴に印刷の結果が表示されます。

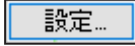
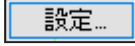



メモ

- [結果] の欄をダブルクリックすると、印刷履歴ファイル (*.CSV) が表示されて印刷結果を確認することができます。印刷履歴ファイル (*.CSV) は以下に保存されます。
< C:\D400LB\PrintLog >
- 印刷結果に問題がある場合は、[結果] の欄にメッセージが表示されます。
⇒ 「メッセージ一覧 (P.78)」
- 「システム連携モジュール V3」では、監視情報ごとのフォルダー (「0AclAgent」、「1AclAgent」、「2AclAgent」) にログが記録されます。
< C:\D400LB\Agent\AclAgent\log >

■ メッセージ一覧

監視情報一覧と履歴情報一覧の結果に表示されるメッセージとその対処方法について説明します。

表示メッセージ	対処方法
ファイル削除エラー（移動先フォルダーに格納された連携ファイルが削除できませんでした。移動先フォルダーを確認して、手動でファイルを削除してください。）	監視フォルダーを確認して、手動で連携ファイル (*.CSV) を削除してください。  をクリックして、監視情報設定を修正してください。
ファイル削除エラー（監視フォルダーに格納された連携ファイルの移動または削除ができませんでした。監視フォルダーを確認して、手動でファイルを削除してください。）	⇒「 監視情報を設定する (P.72) 」
ファイル削除エラー（監視フォルダーに格納されている連携ファイルが削除できませんでした。監視フォルダーを確認して、手動で連携ファイルを削除してください。）	
印刷処理エラー（D400Iib の起動ができませんでした。）	「ラベル発行 V3」を再インストールしてください。
フォルダーアクセスエラー（監視フォルダーにアクセスできませんでした。監視設定を確認してください。）	 をクリックして、監視情報設定にて、  となっている項目を正しく修正してください。
監視情報の設定に誤りがあります。	⇒「 監視情報を設定する (P.72) 」
印刷処理エラー（プリンタードライバーがインストールされていません。）	XXXX プリンタードライバーをインストールしてください。 (XXXX は、監視情報設定画面で選択しているプリンター名称)

付録

入力内容と最大入力可能桁数一覧

○：入力可能

－：入力不可能

() カッコ内の数字：入力可能桁数

入力内容	入力形式							
	コンビ 1	コンビ 2	コンビ 3	コンビ 4	ハウス 1	ハウス 2	ハウス 3	ハウス 4
Airline	○ (2)				－			
Airline code	○ (3)				－			
Air Waybill No.	○ (8)				－			
Destination	○ (3)				－			
個数	○ (4)				－			
House Name	○ (3)	－	－	○ (4)	○ (3)	－	－	○ (4)
House Waybill No.	○ (8)	○ (12)	○ (16)	○ (8/7)	○ (8)	○ (12)	○ (16)	○ (8/7)
Destination	○ (3/8)	○ (6)	○ (6)	○ (3/8)	○ (3/8)	○ (6)	○ (6)	○ (3/8)
色分け	○ (3)				○ (3)			
バーコード用	○ (3)	－	－	○ (3)	○ (3)	－	－	○ (3)
HWB Piece No.	○ (4)				○ (4)			
分割搬入個数	○ (4)	－	－	－	○ (4)	－	－	－
付加情報	○ (30)				○ (30)			
発行枚数	○ (4)				○ (4)			

CSV 形式ファイルの仕様

本ソフトウェアで使用可能な CSV 形式ファイルの仕様は以下のとおりです。

○：必須 △：任意

ラベル種類 項目	コンビ	マスター	ハウス	ケース マーク 5行	ケース マーク 10行	ケース マーク 15行	バーコード	その他 (EX1)	ケース マーク 60行
発行枚数	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハウスコード	△	△	△	△	△	△	△	△	△
ラベル ID	△	△	△	△	△	△	△	○	○
AWB No.	○	○						△	
仕向地コード 1	○	○						△	
個数 1	△	△						△	
識別子 1	△	△							
HAWB No.	○		○						
仕向地コード 2	○		○					△	
個数 2	○		○					△	
HWBP No.	△		△						
分割搬入個数	△		△					△	
付加情報	△	△	△					△	
識別子 2	△		△					○	○
フォワーダーコード	○		○						○
色指定	△		△						
ケースマーク 1~5	△	△	△	△	△	△		△	△
ケースマーク 6~10	△	△	△		△	△		△	△
ケースマーク 11~15	△	△	△			△		△	△
文字入力 1~3							△		
バーコード入力 1~3							△		
ケースマーク 16~60							△		△

項目名	入力可能文字	内容
発行枚数	数字 /4 桁	<ul style="list-style-type: none"> 印刷するラベルの枚数 各ラベル作成画面の「発行枚数」または「印刷枚数」
ハウスコード	英数字 /3 桁	<ul style="list-style-type: none"> フォワーダーのハウスネーム (メイン画面の「依頼元」) 拡張機能「@PF」に対応
ラベル ID	英数字 /3 桁	<ul style="list-style-type: none"> 「ラベル ID 一覧 (P.83)」を参照 ただし、ケースマーク 60 行の場合は「CM4」のみ 空欄の場合は、入力済の項目から推測して自動でラベルの種類を識別
AWB No.	数字 /11 桁	<ul style="list-style-type: none"> コンビラベル / マスターラベルの「Airline Code (3 桁) + Air Waybill No. (8 桁)」 拡張機能「@CL」に対応
仕向地コード 1	英数字 /3 桁	<ul style="list-style-type: none"> キャリアが使用する仕向地 コンビラベル / マスターラベルの「Destination」 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
個数 1	数字 /4 桁	<ul style="list-style-type: none"> コンビラベルの「個数」、マスターラベルの「Total No. of pieces」 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
識別子 1	英数字 /2 桁	<ul style="list-style-type: none"> Airline を指定 1 つの航空会社で複数のロゴを使用している場合の識別子として使用
HAWB No.	数字 /8,12,16 桁	<ul style="list-style-type: none"> コンビラベル / ハウスラベルの「House Waybill No.」 拡張機能「@CL」に対応
仕向地コード 2	英数字 /3,8 桁	<ul style="list-style-type: none"> フォワーダーが使用する仕向地を指定 コンビラベル / ハウスラベルの「Destination」 「バーコード用」で使用する場合 「Destination」+「バーコード用」+「@」+「Destination 文字数 (数値 1 ~ 9)」+「バーコード用文字数 (数値 1 ~ 9)」 例) Destination : "ABCDEFGH"、バーコード用 : "XYZ" の場合 ABCDEFGHXYZ@83 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
個数 2	数字 /4 桁	<ul style="list-style-type: none"> コンビラベル / ハウスラベルの「Total No. of HWB Pieces」 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
HWBP No.	英数字	<ul style="list-style-type: none"> 印刷するページの「HWB Piece No.」を指定 指定がない (空白) の場合は、「個数 2」で指定したページ数を印刷 “-”と“,”を使用してページ指定、範囲指定が可能
分割搬入個数	数字 /4 桁	<ul style="list-style-type: none"> 複数個口の場合の「分割搬入個数」 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
付加情報	全角、半角 / 30 字まで	<ul style="list-style-type: none"> コンビラベル / マスターラベル / ハウスラベルの「付加情報」 拡張機能「@CL」「@LF」に対応
識別子 2	英数字 /5 桁	<ul style="list-style-type: none"> 拡張子を除くフォームファイル名を指定 フォームを切り替えて特殊なフォワーダーロゴを表示させる場合に使用

フォワーダーコード	英数字 /3 桁	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォワーダーのハウスネーム (メイン画面の「依頼元」) ・ 拡張機能「@PF」に対応 										
色指定	英数字 /3 桁	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビラベル / ハウスラベルの「色分け」 										
ケースマーク 1 ~ 15	全半角含め 99 バイトまで (全角 2 バイト / 半角 1 バイト)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケースマークラベルで使用する文字列には、以下のルールを適用してください。 1. 「,」 を文字として使用する場合 文字列の先頭と終端を " (ダブルクォーテーション) で囲みます。 例： 入力：「1,3」 指定方法："1,3" 2. 「"」 を文字として使用する場合 "」 を 2 つ重ねて 表現します。 例： 入力：「ハウ" ス"」 指定方法：ハウ"" ス"" 3. カウントアップ機能を使用する場合 ケースマークラベル作成時の書式に加え、文字列の終端に @cu を付加します。「,」 が含まれる場合は、文字列全体を " で囲み、「"」 は "" に置換します。 例： 入力：「ABC」 + 「1,3」 + カウントアップ 指定方法：""ABC""1,3@cu" 4. 「@cu」 を文字として使用したい場合 「@cu」 の後に半角スペースを追加します。 例： 指定方法：@cu (末尾にスペース) 5. 複数のカウントアップ文字列を指定した場合 先頭のカウントアップ文字列のみが適用されます。それ以外のカウントアップ文字列は削除されます。 6. カウントアップ時のゼロ詰め (0 埋め) 指定 <table border="1" data-bbox="671 1339 1107 1532"> <thead> <tr> <th>ゼロ詰め桁数</th> <th>指定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>@cu</td> </tr> <tr> <td>2 桁</td> <td>@cu02</td> </tr> <tr> <td>3 桁</td> <td>@cu03</td> </tr> <tr> <td>4 桁</td> <td>@cu04</td> </tr> </tbody> </table> 	ゼロ詰め桁数	指定方法	なし	@cu	2 桁	@cu02	3 桁	@cu03	4 桁	@cu04
ゼロ詰め桁数	指定方法											
なし	@cu											
2 桁	@cu02											
3 桁	@cu03											
4 桁	@cu04											
文字入力 1 ~ 3	全角 /15 字まで 半角 /30 字まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字列として印刷される文字を指定 ・ バーコードラベルの「文字入力」 ・ 拡張機能「@CL」「@LF」に対応 										
バーコード入力 1 ~ 3	英数字 /30 字まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ バーコードとして印刷される文字を指定 ・ バーコードラベルの「バーコード入力」 										
ケースマーク 16 ~ 60	全半角含め 99 バイトまで (全角 2 バイト / 半角 1 バイト)	<ul style="list-style-type: none"> ・ フィールド番号「101 ~ 160」 										

■ 記述ルール

- ・ データ区切り文字：「,」のみ
- ・ テキスト区切り文字：「"」のみ（“を文字として使用したい場合は”と入力）
- ・ フォーマット変換：行わない（元の形式を保持）

■ ラベル ID 一覧

ID	ラベル名称
CB1	コンビラベル 1
CB2	コンビラベル 2
CB3	コンビラベル 3
CB4	コンビラベル 4
CB5	コンビラベル 5
MS1	マスターラベル 1
MS2	マスターラベル 2
HS1	ハウ斯拉ベル 1
HS2	ハウ斯拉ベル 2

ID	ラベル名称
HS3	ハウ斯拉ベル 3
HS4	ハウ斯拉ベル 4
HS5	ハウ斯拉ベル 5
CM1	ケースマークラベル 1
CM2	ケースマークラベル 2
CM3	ケースマークラベル 3
BC1	バーコードラベル 1
BC2	バーコードラベル 2
BC3	バーコードラベル 3
EX1	連携印刷のみ

<ラベル ID 「EX1」について>

ラベル ID 「EX1」は、特殊フォームへの印刷機能を持つラベルです。このラベルは、連携印刷専用であり、本ソフトウェアの画面上からは発行できません。

- ・ 印刷条件と動作仕様

「AWB No.」と「個数 1」が設定されている場合：

→「AWB No.」に「0」と「個数 1」を連結した文字列をバーコード（フィールド番号「026」「022」）として扱います。

「AWB No.」が未設定の場合：

→各任意パラメーター（△）は通常の文字列として扱われます。

文字列として扱われる任意パラメーター：

→ケースマークラベルのカウントアップ機能に対応しています。ゼロ詰め（0 埋め）指定も可能です。

■ 拡張機能の指定

CSV 形式ファイル内の文字列には、以下の拡張機能を使用することができます。

機能名	用途	記述方法	備考																				
@PF	コンビラベル / ハウ斯拉ベルで、フォワーダー設定と異なる Prefix（詳細設定画面の「House Name」）を指定	フォワーダーコード + 「@PF」 + 「Prefix」 例) 001@PFXYZ	・ Prefix は文字数にカウントされない																				
@CL	文字列の色を指定 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr><th>ID</th><th>色</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>黒</td></tr> <tr><td>1</td><td>黄</td></tr> <tr><td>2</td><td>マゼンタ</td></tr> <tr><td>3</td><td>シアン</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr><th>ID</th><th>色</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>赤</td></tr> <tr><td>5</td><td>青</td></tr> <tr><td>6</td><td>緑</td></tr> <tr><td>7</td><td>白</td></tr> </tbody> </table>	ID	色	0	黒	1	黄	2	マゼンタ	3	シアン	ID	色	4	赤	5	青	6	緑	7	白	文字列 + 「@CL」 + 「色 ID」 例) ケースマーク 1@CL4 ↓ ケースマーク 1	・ 末尾の @CL のみ拡張文字列として判定 ・ @CL100 など未定義 ID は文字列扱い、黒で印刷
ID	色																						
0	黒																						
1	黄																						
2	マゼンタ																						
3	シアン																						
ID	色																						
4	赤																						
5	青																						
6	緑																						
7	白																						
@LF	文字列途中で改行	文字列 + 「@LF」 + 文字列 例) ABC@LFDEF ↓ ABC DEF	・ 文字数にカウントされる ・ 予約語のため出力文字列として使用不可																				

■ 補足事項

- ・「ハウスコード」は、メイン画面の「依頼元」および「フォワーダー設定画面」の「ハウスネーム」です。「フォワーダーコード」と同じ場合は指定する必要はありません。
- ・「ラベルID」で指定するIDはフォワーダー設定の各ラベルの番号を意味します。
- ・「コンビラベル1～5」「マスターラベル1～2」「ハウ斯拉ベル1～5」「ケースマーク1～3」「バーコードラベル1～3」は、各ラベルを識別する際に必須の項目が空欄の場合はエラーとなります。
- ・「ラベルID」が未設定の場合、以下の条件でラベル種類を自動で識別します。
 - 「AWB No.」と「フォワーダーコード」がある場合：「コンビラベル1」
 - 「AWB No.」があり「フォワーダーコード」がない場合：「マスターラベル1」
 - 「AWB No.」がなく「フォワーダーコード」がある場合：「ハウ斯拉ベル1」
 - 「AWB No.」と「フォワーダーコード」がなく、「文字1～3」と「バーコードデータ1～3」のいずれかがある場合：「バーコードラベル1」
 - 「AWB No.」「フォワーダーコード」「バーコード文字1～3」「バーコードデータ1～3」がなく、「ケースマーク6～15」がない場合：「ケースマークラベル1」
 - 「ケースマーク11～15」がない場合：「ケースマークラベル2」
 - 上記以外：「ケースマークラベル3」
- ・「ラベルID」で指定したラベルに対応する情報がない場合はエラーとなります。
- ・「必須（○）」「任意（△）」の区分に該当しない項目に値が入力されていた場合は、その値を読み飛ばし、処理の対象とはしません。
- ・ラベルの判定に必要な項目が揃っていても、「ラベルID」の設定内容が最優先されます。
(例：コンビラベルと判定するために必要な項目が揃っていても、「ラベルID」が「HS*」の場合はハウ斯拉ベルと認識される)
- ・連携印刷履歴からラベルを再発行する場合、フォワーダー設定が変更されていると再発行ができなくなる場合があります。

キャリア/フォワーダーの登録

キャリア/フォワーダーの最新情報は以下のサイトからダウンロードできます。
<https://cweb.canon.jp/cgi-bin/aircargo/mods/login/Login.cgi>

ダウンロードした zip ファイルを解凍後、フォワーダーフォームキャリアロゴデータをシステムへ登録する手順は、次の通りです。

■ キャリアの情報を登録する

1 xxx.cc5 ファイルをダブルクリックします。

確認メッセージが表示されます。

2 [OK] をクリックします。



メモ

- キャリアの情報が登録済みの場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。

■ フォワーダーの情報を登録する

1 xxx.cf5 ファイルをダブルクリックします。

確認メッセージが表示されます。

2 [OK] をクリックします。



メモ

- フォワーダーの情報が登録済みの場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。